

JxEuro 2011

ユーザーズ・ガイド

開封前に必ずお読みください。

本ソフトウェアは、お客様が下記のソフトウェア使用許諾契約にご同意いただいた場合にご提供いたします。このパッケージを開封する前に、下記の契約条項を十分にお読み下さい。

本ソフトウェアのパッケージを開封された場合は、勝手ながら、お客様が下記契約に同意いただけたものとし、本契約は成立します。パッケージ開封後は本契約に基づき直ちにユーザー登録を行ってください。ご登録ユーザー様に限り、バージョンアップその他のサポートをさせていただきます。

なお、本契約条項にご同意いただけない場合は、未開封のまま、速やかに本製品をお買い上げの販売店にご返却ください。

ソフトウェア使用許諾条項

株式会社クロスランゲージ(以下、クロスランゲージという)が作成したソフトウェア(以下、製品という)のご使用に当たり、お客様は以下の条項にご同意いただきます。

1. 本契約はお客様がパッケージを開封したときから発効します。
2. 製品の著作権などすべての権利は、明示的に付与したものを除きクロスランゲージに帰属します。クロスランゲージはお客様に対して、本条項に従って非独占的に使用できる譲渡不能の制限付き使用权を許諾します。
3. お客様は一台のコンピュータシステムでお客様自身に限り製品を使用することができます。なお、本ソフトウェアの使用者がお客様ご自身に限られている場合は、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件で、お客様のみが使用する他のコンピュータにインストールすることができます。
4. クロスランゲージはお客様に対して、以下のことを禁止します。
 - (1)お客様が製品を改変あるいはプログラムの解析(リバースエンジニアリング)をすること。
 - (2)お客様が第三者に対して、製品を譲渡または貸与すること。
5. お客様は製品の受け渡し日から一箇月以内にディスクや印刷物の物理的な障害を発見したときには、交換を要求することができます。
6. クロスランゲージは製品を使用した結果に関しては、いかなる保証もおこないません。また翻訳成果物を何がしかの編集をせず公表・販売・頒布することは著作権法に抵触する恐れがありますのでお止めください。
7. お客様が本条項に違反した場合は、クロスランゲージからの使用許諾権は、自動消滅するものとし、この場合、お客様は受領した製品の全て(バックアップを含めて)をクロスランゲージに返却していただきます。なお、返却のための費用はお客様で負担していただきます。

著作権

本製品の仕様は、改良のために予告なく変更することがあります。

本製品を日本国外に携帯するには、輸出貿易管理令等の関係法令にご留意ください。

Windows, Microsoft, Excel, PowerPoint, Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



Copyright Language Engineering Company, LLC and Bowne & Co., Inc, Lingvistica '98 Inc. and LogoMedia Corporation.本マニュアルおよび製品で使用している社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品の著作権：©株式会社クロスランゲージ

■ はじめに

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。本書では、製品の使い方や使用上の注意事項について記載しています。ご使用前に本書をご一読の上、正しくお使いください。

■ 本書の構成

本書では「JxEuro 2011」（以降、「JxEuro」と表記します）の機能を説明しています。なお、共通する部分の説明では、英日翻訳の画面を貼付しています。本書の最後には索引があります。

■ 翻訳結果について

基本語辞書や文法ルールは逐次改良が加えられているため、画面に表示される結果は、本書の画面や説明文中にある翻訳結果とは必ずしも一致しません。翻訳結果は、翻訳に関する設定や使用している専門語辞書によって異なります。

■ 本書で使用している記号やマークについて

本書で使用している記号やマークは次のとおりです。

• 記号について

[ファイル]	メニュー名を示します。
[ファイル]ー[開く]	「ファイル」メニューの「開く」コマンドを選択することを示します。
<登録>	ダイアログボックスにあるボタン名を示します。
『 』	参照ページのタイトルを示します。（例）『1.2 動作環境』を参照してください。

• マークについて



注意事項です。



備考事項や補足説明です。

ヒント

目次

1 JxEuroについて	1
1.1 JxEuroの主な機能.....	1
1.2 製品ラインナップ.....	3
1.3 翻訳エンジン.....	4
1.4 オンラインヘルプの使い方.....	4
2 翻訳エディタ入門	5
2.1 JxEuroの起動と終了.....	5
2.1.1 JxEuroの起動.....	5
2.1.2 JxEuroの終了.....	7
2.2 英語を日本語に翻訳する.....	7
2.2.1 テキストファイルの翻訳.....	7
2.2.2 単語の対応と訳語の変更.....	9
2.2.3 ユーザー辞書に単語を登録する.....	10
2.3 翻訳結果を保存する.....	11
2.3.1 翻訳ファイルの保存.....	11
2.3.2 訳文の保存.....	12
2.4 日英翻訳の確認モード.....	13
3 アプリケーションの翻訳	14
3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳.....	14
3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択.....	14
3.1.2 Wordの翻訳.....	15
3.1.3 Excelの翻訳.....	16
3.1.4 PowerPointの翻訳.....	17
3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効.....	18
3.2 ホームページの翻訳.....	19
3.2.1 翻訳の前に.....	19
3.2.2 ホームページを翻訳する.....	20
3.2.3 ホームページの翻訳検索.....	23
3.3 メール翻訳.....	26
3.3.1 メール翻訳の実行.....	26
3.4 PDFダイレクトファイル翻訳.....	28
3.4.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行.....	28
3.4.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効.....	29
4 翻訳パレット入門	30
4.1 翻訳パレットの起動と終了.....	30
4.1.1 翻訳パレットの起動.....	30
4.1.2 翻訳パレットの終了.....	31
4.2 翻訳エディタ.....	31

4.3	ファイル翻訳	32
4.3.1	ファイル翻訳を実行する	32
4.3.2	ファイル翻訳の設定	34
4.4	キャプチャ翻訳	35
4.4.1	キャプチャ翻訳の実行	35
4.4.2	キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能	37
4.5	ワンポイント翻訳	38
4.6	OCR	39
4.7	翻訳パレットの設定	40
5	翻訳エディタの機能	41
5.1	欧州語を日本語に翻訳する	41
5.1.1	文章を入力して翻訳	41
5.1.2	単語の対応	42
5.1.3	訳語の変更	42
5.1.4	ユーザー辞書に単語を登録する	45
5.2	日本語を欧州語に翻訳する	47
5.2.1	日本語を入力して翻訳	47
5.2.2	単語の対応	49
5.2.3	訳語の変更	49
5.2.4	ユーザー辞書に単語を登録する	52
5.3	文書の翻訳	53
5.4	学習機能	54
5.5	英日／日英翻訳の機能	55
5.5.1	品詞変更 英日のみ	55
5.5.2	フレーズ翻訳 英日／日英のみ	56
5.5.3	別解釈 英日のみ	59
5.5.4	オプション翻訳 英日のみ	60
5.6	翻訳ロックと翻訳ロック解除	62
5.7	音声読み上げ	63
5.7.1	音声読み上げを実行する	63
5.7.2	音声読み上げの設定	63
5.8	英文チェック	65
6	辞書の活用	66
6.1	翻訳辞書の参照	66
6.2	ユーザー辞書に単語を登録する	67
6.2.1	英⇄日ユーザー辞書登録	67
6.2.2	英⇄欧ユーザー辞書登録	70
6.2.3	ユーザー辞書を新規作成する	72
6.2.4	書き込み可能なユーザー辞書を指定する	74
6.2.5	翻訳で使用する辞書を指定する	74
6.3	専門語辞書を使う	76
6.4	アップデート	77

7 環境の設定	79
7.1 英日翻訳の設定	79
7.2 日英翻訳の設定	81
7.3 多言語翻訳の設定	83
7.3.1 フランス語の翻訳設定	83
7.3.2 ドイツ語の翻訳設定	84
7.3.3 イタリア語の翻訳設定	85
7.3.4 ポルトガル語の翻訳設定	87
7.3.5 スペイン語の翻訳設定	88
7.4 英文チェックの設定	90
7.5 フォントと配色の設定	91
7.6 ツールバーカスタマイズ	92
7.7 ホームページ翻訳の設定	93
7.8 メール翻訳の設定	95
7.9 PDFダイレクトファイル翻訳の設定	96
7.10 ツールの設定	98
7.10.1 OCR設定 キャプチャ翻訳のみ	98
7.10.2 常駐機能	99
7.10.3 フォント	100
7.10.4 その他	101
付録	102
付録1 Officeの起動時に「セキュリティの警告」	102
付録2 多国語IMEを使った入力	106
2-1 Windows XPの場合	106
2-2 Windows 7/Vistaの場合	108
付録3 JxEuroが作成するファイル	111

1 JxEuro について

この章では、JxEuroの機能、製品ラインナップ、ヘルプの使い方について説明します。

1.1 JxEuroの主な機能

JxEuroは、欧州6か国語⇄日本語の双方向翻訳に対応したマルチリンガル翻訳ソフトです。最新の英日／日英翻訳エンジンを搭載し、翻訳精度の向上を実現しました。JxEuroの特徴は以下のとおりです。

- **文書の翻訳、翻訳結果の修正に最適な翻訳エディタ**

翻訳エディタでは、テキストファイルの翻訳、翻訳結果を適切な訳語に変更する訳語変更、変更した訳語を学習して次回の翻訳に活用する学習機能、足りない語句を登録するユーザー辞書登録などを実行できます。（『2 翻訳エディタ入門』参照）

また、確認モードを使った日英翻訳（『2.4 日英翻訳の確認モード』参照）、2面モード／3面モードを使った多言語の翻訳をサポートしています。

（『5.1 欧州語を日本語に翻訳する』『5.2 日本語を欧州語に翻訳する』参照）

- **Microsoft Officeアドイン翻訳**

Microsoft Officeに対応したアドイン翻訳では、アプリケーションに登録されたボタンをクリックするだけでWord, Excel, PowerPointに読み込んだ文書を翻訳したり、辞書引きを行うことができます。（『3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳』参照）

- **ホームページの翻訳**

Internet Explorerで表示したWebページを、レイアウトはそのまま、本文のみを翻訳して、翻訳結果のWebページを作成します。（『3.2 ホームページの翻訳』参照）

- **メールの翻訳**

Windows Liveメール 2009、WindowsメールまたはOutlook Expressで受信したメールを翻訳することができます。（『3.3 メール翻訳』参照）

- **PDFダイレクトファイル翻訳**

PDFファイルのレイアウト情報を表示し、フォント属性などによる翻訳対象文字列の設定機能によってレイアウトを保持したまま翻訳することができます。（『3.4 PDFダイレクトファイル翻訳』参照）

- **複数ファイルを一括で翻訳**

翻訳パレットの〈ファイル翻訳〉では、複数ファイルを一括で翻訳することができます。（『4.3 ファイル翻訳』参照）

- **キャプチャ翻訳**

翻訳パレットの〈キャプチャ翻訳〉では、範囲指定した画像ファイルに文字認識を実行し、翻訳することができます。（『4.4 キャプチャ翻訳』参照）

- **文字認識**

JxEuro plusの翻訳パレットでは〈OCR〉でスキャナから取り込んだ画像ファイルの文字認識を実行することができます。（『4.6 OCR』参照）

- **英会話の学習用に**

翻訳エディタでは、文章をネイティブスピーカーの発音で読み上げることができます。（『5.7 音声読み上げ』参照）

1.2 製品ラインナップ

JxEuroには、以下の製品があります。

- JxEuro
- JxEuro plus

● JxEuro plusの機能

JxEuro plusには、以下の機能が搭載されています。

- CROSS OCR

● 専門語辞書

すべての製品に以下の専門語辞書が搭載されています。

分野	翻訳言語と語数	翻訳言語と語数
ビジネス	英語→日本語 (74,000語)	日本語→英語 (79,000語)
	英語→フランス語 (9,000語)	フランス語→英語 (8,000語)
	英語→ドイツ語 (20,000語)	ドイツ語→英語 (17,000語)
	英語→スペイン語 (8,000語)	スペイン語→英語 (8,000語)
	英語→ポルトガル語 (29,000語)	ポルトガル語→英語 (6,000語)
	英語→イタリア語 (4,000語)	イタリア語→英語 (3,000語)
コンピュータ	英語→日本語 (119,000語)	日本語→英語 (161,000語)
	英語→フランス語 (28,000語)	フランス語→英語 (23,000語)
	英語→ドイツ語 (12,000語)	ドイツ語→英語 (11,000語)
	英語→スペイン語 (2,000語)	スペイン語→英語 (4,000語)
	英語→ポルトガル語 (13,000語)	ポルトガル語→英語 (3,000語)
	英語→イタリア語 (3,000語)	イタリア語→英語 (3,000語)
法律	英語→日本語 (37,000語)	日本語→英語 (34,000語)
	英語→フランス語 (11,000語)	フランス語→英語 (10,000語)
	英語→ドイツ語 (8,000語)	ドイツ語→英語 (7,000語)
	英語→スペイン語 (5,000語)	スペイン語→英語 (8,000語)
	英語→ポルトガル語 (22,000語)	ポルトガル語→英語 (5,000語)
	英語→イタリア語 (3,000語)	イタリア語→英語 (3,000語)
医療医学	英語→日本語 (68,000語)	日本語→英語 (120,000語)
	英語→フランス語 (20,000語)	フランス語→英語 (17,000語)
	英語→ドイツ語 (35,000語)	ドイツ語→英語 (32,000語)
	英語→スペイン語 (6,000語)	スペイン語→英語 (12,000語)
	英語→ポルトガル語 (26,000語)	ポルトガル語→英語 (7,000語)
	英語→イタリア語 (3,000語)	イタリア語→英語 (3,000語)

1.3 翻訳エンジン

「翻訳エンジン」は、バックグラウンドで実際の仕事、すなわち翻訳を行います。コンピュータの使用状況に応じて、効率よく翻訳作業を行います。翻訳エンジンは、文章を解析し、単語の品詞、文中でのフレーズの役割などを特定します。この解析された単語についてシステム辞書を参照し、翻訳していきます。翻訳エンジンは、翻訳する／される言語の組み合わせごとに用意されています。また、その表記は"原文の言語の頭文字 ▶ 翻訳結果の言語の頭文字"のようになっています。たとえば、E▶Jは英語を日本語に翻訳することであり、この言語ペア専用の翻訳エンジンが用意されています。また、J▶Eは日本語から英語に翻訳することであり、この言語ペア専用の翻訳エンジンが用意されています。JxEuroには12の翻訳エンジンが搭載されています。これらの言語ペアの間では、翻訳エンジンを通じて直接翻訳を行うことが可能です。本製品には以下の翻訳エンジン（言語ペア）が用意されています。

言語ペア	表記	言語ペア	表記
英語からフランス語へ	E▶F	フランス語から英語へ	F▶E
英語からドイツ語へ	E▶G	ドイツ語から英語へ	G▶E
英語からイタリア語へ	E▶I	イタリア語から英語へ	I▶E
英語から日本語へ	E▶J	日本語から英語へ	J▶E
英語からポルトガル語へ	E▶P	ポルトガル語から英語へ	P▶E
英語からスペイン語へ	E▶S	スペイン語から英語へ	S▶E

JxEuroのパッケージでは、日本語⇄欧州語間の複合翻訳機能もサポートしています。複合翻訳とは、中間媒介言語（英語）を通じて翻訳を行うことです。

ある言語の翻訳結果を、他方の言語の入力にすることでこの機能は実現されています。たとえば、フランス語から英語への翻訳結果を、英語から日本語に翻訳します。こうすることにより、フランス語が日本語に翻訳されたことになります。このとき、英語が中間媒介言語となります。

1.4 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプにはJxEuroのすべての機能説明が掲載されています。

JxEuroの機能や操作手順を調べるときにご活用ください。

オンラインヘルプを表示するには、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[JxEuro 2011]－[ユーザーズ・ガイド]を選択します。

2 翻訳エディタ入門

翻訳エディタでは、文書の一括翻訳、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などの翻訳作業を行うことができます。

この章では、翻訳エディタの使い方について説明します。

2.1 JxEuroの起動と終了

ここでは、JxEuroの起動と終了方法について説明します。

2.1.1 JxEuroの起動

- デスクトップのショートカットから起動

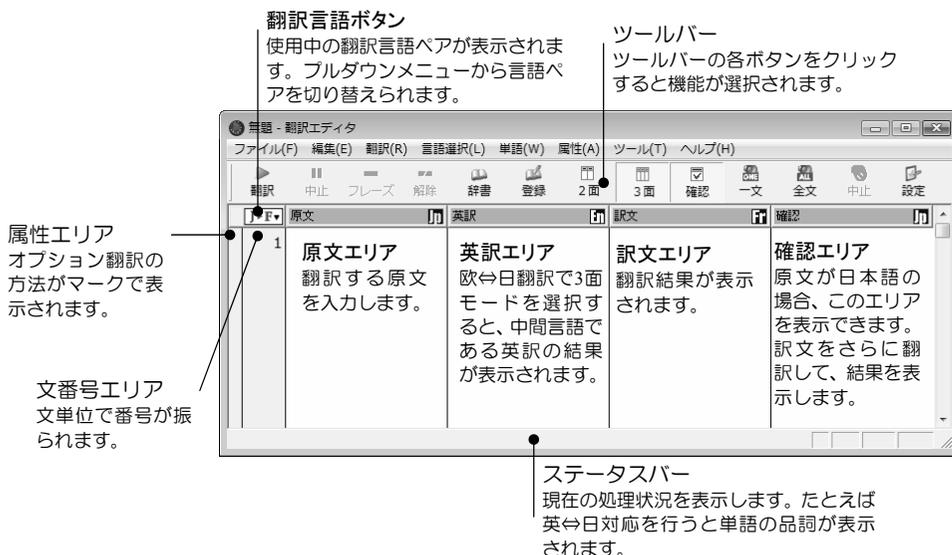
デスクトップに登録されたJxEuro 2011 アイコンをダブルクリックすると翻訳エディタが起動します。

- 「スタート」メニューから起動

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[JxEuro 2011]とたどると、JxEuro関連のメニューが表示されます。翻訳パレットはここから起動することもできます。

● 翻訳エディタについて

JxEuroを起動すると、翻訳エディタが表示されます。



● 言語ペア選択

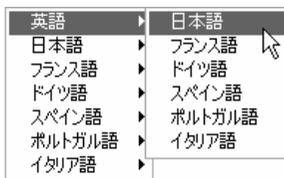
翻訳エディタのウィンドウの左上にあるボタンには、原語と訳語の「言語ペア」が表示されます。このボタンを「翻訳言語ボタン」と呼びます。翻訳言語ボタンは、どの原語からどの訳語に翻訳するのかを示しています。たとえば、**E>J**の場合、「英語から日本語」に翻訳します。

言語ペアは、翻訳言語ボタンをクリックして表示されるプルダウンメニューから切り替えます。

手順

1. 翻訳言語ボタンをクリックします。

翻訳可能な言語ペアのメニューが表示されます。



2. 翻訳する言語の組み合わせを選択します。たとえば、「日本語▶フランス語」を選択すると、日英仏の3面モードが開きます。



言語ペアは、[言語選択]メニューから選択することもできます。

● 翻訳モードの切り替え

翻訳エディタのモードの切り替えは、ツールバーの〈2面モード〉、〈3面モード〉、〈確認モード〉をクリックして行います。



翻訳モードは、[言語選択]メニューから選択することもできます。

2.1.2 JxEuroの終了

[ファイル]ー[終了]を選択すると翻訳エディタが終了します。

2.2 英語を日本語に翻訳する

ここでは、翻訳エディタを使って英語を日本語に翻訳する方法を説明します。

2.2.1 テキストファイルの翻訳

英語のテキストファイルを読み込んで翻訳する手順を説明します。
手順は以下のとおりです。

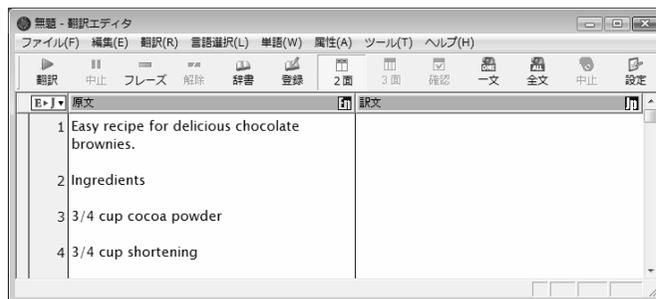


1. 翻訳言語ボタンをクリックし、言語ペアを「英語▶日本語」に設定します。
2. [ファイル]ー[開く]を選択します。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



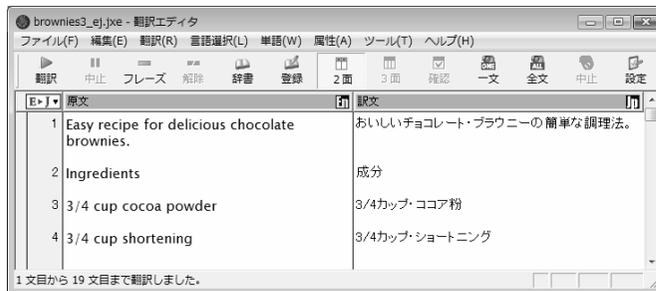
3. 翻訳するファイルをダブルクリックするか、ファイルを選択して〈開く〉をクリックします。

原文エリアに原文が読み込まれます。



4. カーソルが文書の先頭の文にあることを確認して、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

翻訳が実行され、結果が訳文エリアに表示されます。



● 翻訳の中止

一括翻訳を中止する場合は、ツールバーの〈翻訳中止〉をクリックします。Escキーを押すか、[翻訳]—[翻訳中止]を選択しても中止できます。



処理中止操作をしても、実際に処理を中止するまでには、多少時間がかかる場合があります。

2.2.2 単語の対応と訳語の変更

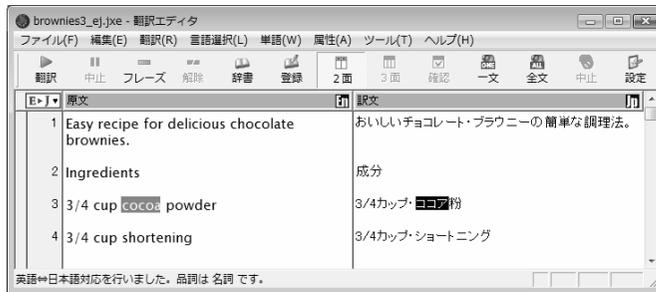
JxEuroには、原文の単語がどの訳語に翻訳されたのかを確認する「訳語対応」機能と、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。

手順は以下のとおりです。



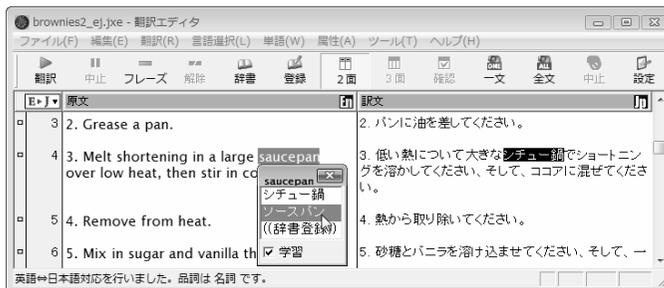
1. 任意の単語をダブルクリックする（マウスの左ボタンを2回続けて押す）と「訳語対応」が実行されます。

原文と訳文の対応する語句が反転表示されます。



2. 任意の単語をトリプルクリックする（マウスのボタンを3回続けて押す）と「訳語変更」が実行されます。

対応する語句が反転し、訳語の一覧が表示されます。



3. 適切な訳語をダブルクリックして訳を変更します。

たとえば、「ソースパン」を選択した場合、以下のとおりに変更されます。



● 学習機能

変更した訳語は学習され、次回からその訳語が優先して使われるようになります。訳語の学習は、[ツール]—[設定]—[翻訳]でオン/オフを設定します。訳語変更ウィンドウで、一番上に表示される訳語の右に「←[学習]」と表示されている場合は、その訳語が学習されたことを意味します。

1つの見出し語に対して、学習機能が有効な訳語は常に1つです。



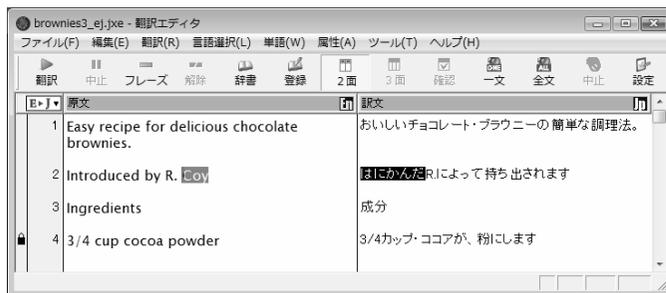
【ツール】－【設定】－【翻訳】で、「訳語を学習する」チェックボックスをオフにすると、訳の学習を行いません。同様に、訳語変更ダイアログで「学習」チェックボックスをオフにしてから訳語変更を行っても、訳の学習は行いません。この場合は、文に英訳ロックがかかり、この文を再度翻訳することはできなくなります。

2.2.3 ユーザー辞書に単語を登録する

JxEuroでは、「基本語辞書」にない単語や訳語を「ユーザー辞書」に登録することによって翻訳結果に反映することができます。ユーザー辞書に単語を登録して、翻訳に反映する手順を説明します。

手順

1. 辞書登録する語句をダブルクリック、またはドラッグして選択します。



2. ツールバーの〈登録〉  をクリックします。

辞書登録ダイアログが表示されます。「見出し語」には選択した語句（英語）が入力されます。

3. 「訳語」に訳語を入力し、「品詞」を選択します。



4. 〈登録〉をクリックして、続いて、〈閉じる〉をクリックします。
5. 文番号をクリックして再翻訳します。

2	Introduced by R. Coy	コイRによって持ち出されます
---	----------------------	----------------

ユーザー辞書に登録した訳語が訳出されています。



ヒント

【訳語変更ダイアログから辞書登録する】

訳語変更ダイアログにある(辞書登録)をダブルクリックすると、同様に辞書登録ダイアログが開きます。また、辞書参照ダイアログの〈登録〉をクリックしても辞書登録ダイアログを開くことができます。

2.3 翻訳結果を保存する

翻訳結果を「翻訳ファイル」として保存することができます。翻訳ファイルを開くと、原文と訳文を現在の状態のまま再現できます。また、翻訳エディタの内容は、テキストファイルとして出力することもできます。

2.3.1 翻訳ファイルの保存

翻訳した結果を、「翻訳ファイル」として保存することができます。



1. [ファイル]―[上書き保存]または、[名前を付けて保存]を選択します。
2. 名前を付けて保存ダイアログで保存先のフォルダを開きます。



3. 「ファイル名」を入力して、〈保存〉をクリックします。

● 翻訳ファイルの拡張子とファイル名

JxEuroの翻訳ファイルには、「jxe」という拡張子が付加されます。また初期状態では原文のファイル名の後に「_AB」が付加されます。ここでAは原文の言語の頭文字、Bは翻訳結果の言語の頭文字を意味します。たとえば英日翻訳の場合はファイル名に「_ej」を、日英翻訳の場合はファイル名に「_je」つけたものが、拡張子の前に付加されます。

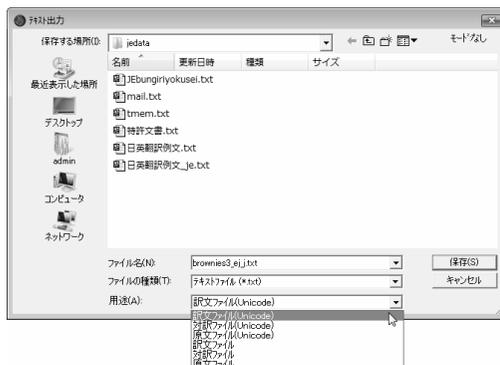
詳細は『付録3 JxEuroが作成するファイル』を参照してください。

2.3.2 訳文の保存

翻訳結果の訳文をファイルに保存することができます。

手順

1. [ファイル]—[テキスト出力]を選択します。
2. テキスト出力ダイアログで保存先のフォルダを開き、「ファイル名」を入力します。
3. 「用途」で「訳文ファイル」を選択します。



4. 「保存」をクリックします。

これで、「訳文ファイル」として保存されました。

初期状態で保存するファイル名には指定したテキストの種類が以下のように付加されます。

- 原文ファイル……………ファイル名_A.txt
- 対訳ファイル……………ファイル名_AB.txt
- 訳文ファイル……………ファイル名_B.txt

ここでAは原文の言語の頭文字、Bは翻訳結果の言語の頭文字を意味します。たとえば英日翻訳を対訳ファイルとして出力する場合、ファイル名に"_ej"が付加されます。詳細は『付録3 JxEuroが作成するファイル』を参照してください。



JxEuroは「テキスト出力」で処理したファイルに対して、自動的にその種類を付加します。保存時にファイル名を編集することはできますが、この場合は、ユーザー自身がファイルの種類を管理してください。

● Unicodeで保存

テキストをUnicodeで保存する場合は、「Unicode」チェックボックスをオンにします。

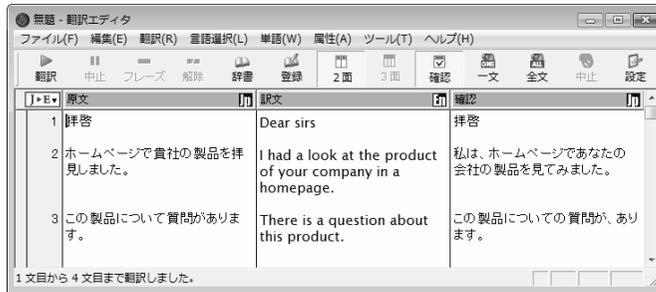
2.4 日英翻訳の確認モード

日英翻訳では、英日翻訳と同様にテキストファイルを翻訳したり、訳語の対応表示や変更、ユーザー辞書の構築などを行うことができます。

また、日英翻訳には、日英翻訳により訳出された英文をさらに日本語に翻訳してその結果を表示する「確認モード」があります。

翻訳言語ボタンをクリックして「日本語▶英語」を選択します。次にツールバーの〈確認モード〉 をクリックすると日英日3面モードに切り替わります。

「確認モード」で翻訳を実行すると、以下のとおりになります。



3 アプリケーションの翻訳

JxEuroには、翻訳エディタのほかに、Microsoft Officeから翻訳、ホームページの翻訳、受信したメールの翻訳など、便利な翻訳機能があります。
この章では、アプリケーションから実行する翻訳機能について説明します。

3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳

JxEuroは、Word, Excel, PowerPointにある文章の翻訳、辞書引きなどを行えます。



ヒント

JxEuroが起動していない状態で、Officeアドイン翻訳を実行することができます。

すでにMicrosoft Officeがインストールされているパソコンに、初期状態のままJxEuroをインストールすると、「Wordアドイン翻訳」、「Excelアドイン翻訳」、「PowerPointアドイン翻訳」機能がインストールされます。

アドイン機能のインストールとアンインストールについては、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択

各ソフトウェアにアドイン機能がインストールされると、次のようなアイコンがツールバーに表示されます。



各アイコンの意味は以下のとおりです。

ツールバーのボタン	説明
Excel：ワークシート翻訳 PowerPoint：スライド翻訳	表示しているワークシート／スライドを翻訳する（青い三角）
<全文翻訳>	表示している文書全体／ワークブック全体を翻訳する（緑の三角）
<選択範囲翻訳>	選択した部分を翻訳する
<アドイン設定>	翻訳に関する各種設定を行う
<ヘルプ>	Microsoft Officeアドイン翻訳のヘルプを表示する

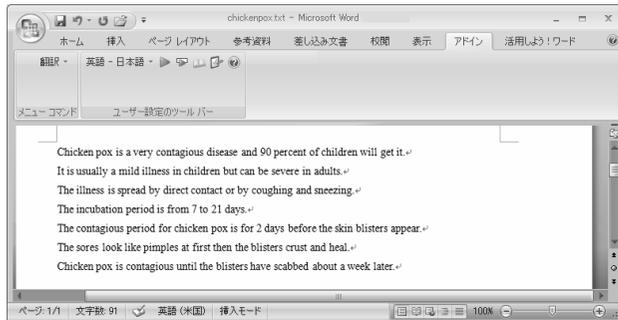
このツールバーが表示されない場合は、[表示] - [ツールバー]のサブメニューから「アドイン翻訳」チェックボックスをオンにして表示してください。

● 翻訳言語の切り替え

翻訳する言語ペアを切り替えるには、「英語—日本語」の横にある▼をクリックして表示されるプルダウンメニューから選択してください。

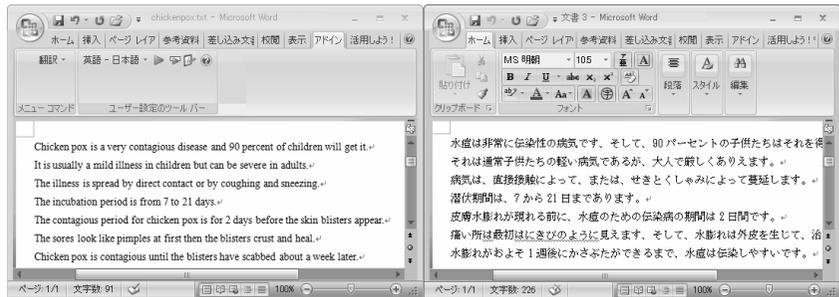
3.1.2 Wordの翻訳

手順 ▶ 1. Wordで翻訳する文章を表示して〈全文翻訳〉▶をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

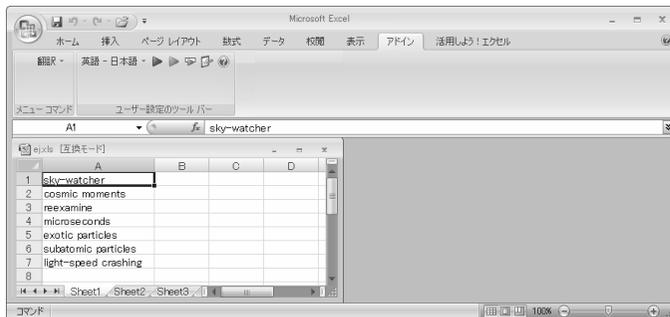
元のWordウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、フィールドコードの扱いなどは、〈アドイン設定〉をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

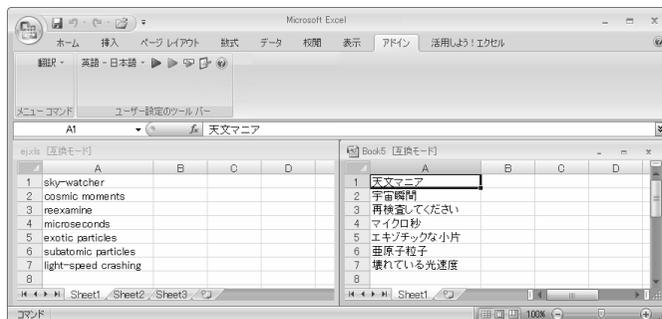
3.1.3 Excelの翻訳

- 手順** ▶ 1. Excelで翻訳する文章を表示して〈ワークシート翻訳〉▶ (青)をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

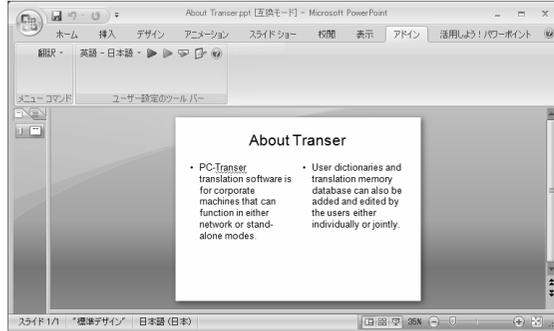
元のExcelウィンドウの横へ、翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、計算式の扱いなどは、〈アドイン設定〉▶ をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

3.1.4 PowerPointの翻訳

- 手順** ▶ 1. PowerPointで翻訳する文章を表示して〈スライド翻訳〉▶ (青)をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

元のPowerPointウィンドウの横へ、翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイルなどは、〈アドイン設定〉▶ をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効

すでにMicrosoft OfficeやInternet Explorerがインストールされているパソコンに、初期状態のままJxEuroをインストールすると、アドイン翻訳機能がインストールされます。

インストールの後、アドイン機能を使用するかを指定することができます。

手順

1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[ツール]—[アドイン設定]を選択します。
アドイン設定ダイアログが表示されます。



2. 使用するアドイン機能のチェックボックスをオンにします。
チェックボックスがオンの場合、アドイン機能が有効になり使用できます。オフにするとアドイン機能が無効に設定されて使用できなくなります。
3. 各項目を設定したら、〈設定〉をクリックします。
これで、アドイン機能が有効（無効）に設定されました。



インストールしたユーザーと違う名前でのログインし、Microsoft Officeアドインを使用する場合は、ここでMicrosoft Officeアドインを有効に設定する必要があります。

3.2 ホームページの翻訳

「ホームページ翻訳」機能は、ブラウザに表示した文章を、画像、表などのレイアウトを変えずに翻訳します。

ホームページ翻訳の設定と制限事項については、『7.7 ホームページ翻訳の設定』を参照してください。アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.2.1 翻訳の前に

ホームページ翻訳は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーが表示され、翻訳が実行できるようになります。翻訳ツールバーが表示されない場合は、以下の手順で表示します。

● 翻訳ツールバーの表示

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーが表示できるようになります。翻訳ツールバーの表示方法は以下のとおりです。

手順▶

1. **Internet Explorerを起動します。**
2. **[表示]-[ツールバー]-[IEアドイン翻訳]を選択します。**

次の翻訳ツールバーが表示されます。



表示された翻訳ツールバーの位置が見にくい場合には、[表示]-[ツールバー]-[ツールバーを固定する]のチェックを外し、翻訳ツールバーをスライドさせて見やすい場所に置きます。

● 翻訳言語リストの取得

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーに翻訳可能な言語ペアの一覧（翻訳言語リストボックス）が表示されます。表示されないときは、翻訳の前に翻訳言語リストを取得します。

- 手順** 1. 翻訳ツールバーの〈設定〉をクリックし、設定画面を表示します。



製品選択には、インストールされている弊社製品が一覧表示されます。

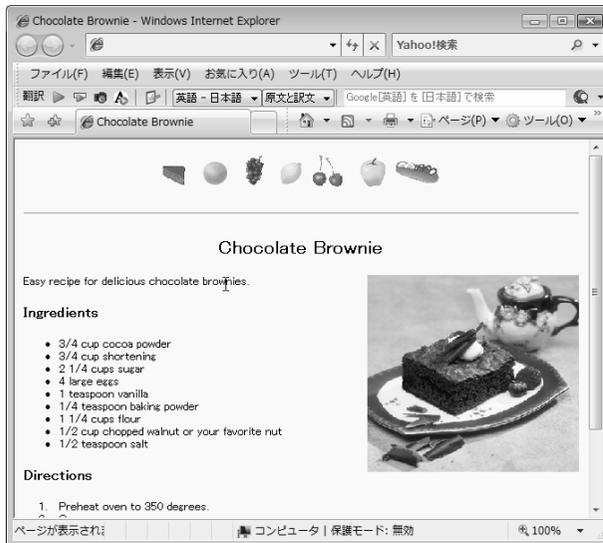
2. 〈言語リスト取得〉をクリックします。
3. 〈OK〉をクリックし、設定ダイアログを閉じます。

これで、使用可能な翻訳言語がツールバーの言語リストに設定されました。

3.2.2 ホームページを翻訳する

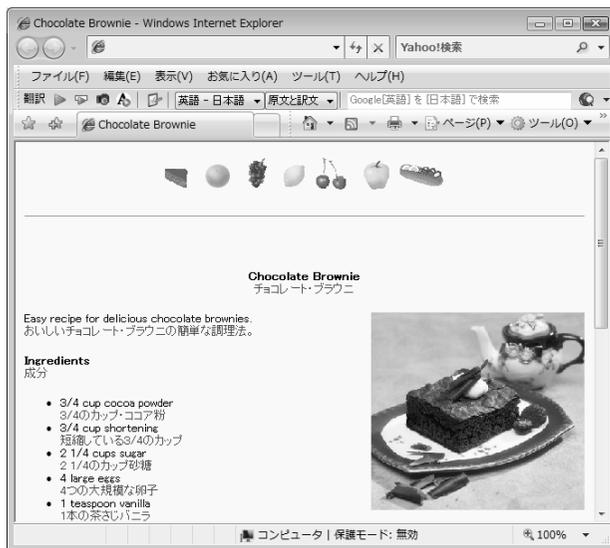
ホームページ翻訳の手順は以下のとおりです。

- 手順** 1. Internet Explorerで翻訳するページを表示します。



2. 翻訳する言語ペアを選びます。ツールバーの「英語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから言語ペアを選びます。
3. 「原文と訳文」の横の▼をクリックし、翻訳結果の表示方法を選びます。「原文と訳文」または「訳文のみ」から選択できます。
4. ツールバーの〈翻訳〉ボタン▶をクリックします。

翻訳が開始されます。翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。



【翻訳結果が正しくない場合】

辞書で見つからない単語は、原文のまま表示されます。また、フレームを含むページは翻訳できない場合があります。フレームを別ウィンドウで表示するか、翻訳できない部分は翻訳エディタを使って翻訳してください。

● 選択した文章の翻訳

ホームページ翻訳では、選択した文章を翻訳することができます。

Internet Explorerで翻訳するページを表示し、翻訳する文章をマウスでドラッグして選択します。次に〈選択範囲の翻訳〉▶をクリックすると、選択した文章が翻訳されます。



【選択範囲を翻訳した場合のレイアウト】

選択範囲の翻訳を行った場合、元のページのレイアウトは継承されません。

Internet Explorer 8のアクセラレータで翻訳

Internet Explorer 8のアクセラレータを使用して、選択した文章を翻訳することができます。翻訳する文章をマウスでドラッグして選択し、アクセラレータボタンをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。メニューにある「IEアドイン翻訳」をクリックすると、選択した文章が翻訳されます。

● キャプチャ翻訳

ホームページ翻訳では、選択した領域の文字認識を実行し、抽出した文章を翻訳する「キャプチャ翻訳」を実行することができます。

〈キャプチャ翻訳〉  をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動してマウスカーソルが「+」に変わります。キャプチャ翻訳の詳細については、『4.4 キャプチャ翻訳』を参照してください。

● ワンポイント翻訳

ホームページ翻訳では、JxEuroを起動していない状態でも、英日または日英翻訳を行う「ワンポイント翻訳」を実行することができます。

〈ワンポイント翻訳〉  をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。ワンポイント翻訳については、『4.5 ワンポイント翻訳』を参照してください。

3.2.3 ホームページの翻訳検索

「翻訳検索」は、指定したキーワードをWebページで検索し、検索結果を翻訳してブラウザに表示します。

検索では、以下の検索エンジンを使用することができます。検索エンジンの追加方法については後述する『翻訳検索の設定』を参照してください。

検索エンジン

Google
Yahoo
Wikipedia

ホームページ翻訳検索は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、Internet Explorerに翻訳ツールバーが表示されます。翻訳ツールバーが表示されない場合『3.2.1 翻訳の前に』を参照して表示します。

翻訳検索の手順は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerのツールバーの「英語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「英語－日本語」または「日本語－英語」を選びます。

2. 翻訳検索ボックスにキーワードを入力します。

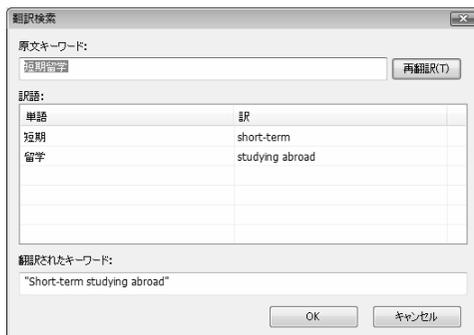
キーワードは英日翻訳の場合は日本語、日英翻訳の場合は英語で指定します。

3. 翻訳検索アイコンの横の▼をクリックし、プルダウンメニューから検索エンジンを選択します。

選択した検索エンジンにチェックマークが付与されます。

4. 翻訳検索アイコンをクリックします。

翻訳検索ダイアログが表示されます。キーワードを指定せずに翻訳検索アイコンをクリックすると、検索エンジンのページが表示されます。



翻訳検索ダイアログでは、次の操作を実行することができます。

原文キーワードの翻訳

〈再翻訳〉をクリックすると、「原文キーワード」が翻訳されます。

翻訳されたキーワード

検索は、「翻訳されたキーワード」の語句で実行されます。

「翻訳されたキーワード」には、キーボードから直接入力することもできます。

5. 翻訳検索ダイアログで〈OK〉をクリックします。

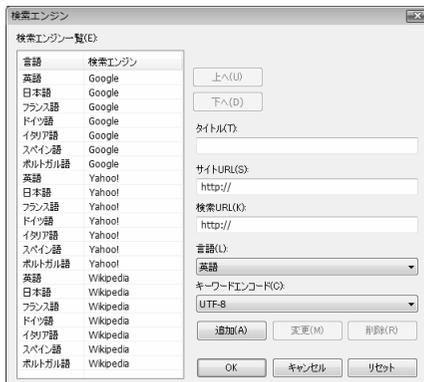
検索と翻訳が開始されます。翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。



● 翻訳検索の設定

検索エンジンを指定します。

翻訳検索アイコンの横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「設定」を選択すると、次のダイアログが表示されます。



検索エンジン一覧

設定されている検索エンジンが一覧表示されます。

検索エンジンの追加／変更／削除

「検索エンジン一覧」で内容を変更する項目をクリックして選択すると、各項目に設定内容が表示されます。各項目を適切に設定し、〈変更〉をクリックすると設定値が変更されます。〈追加〉をクリックすると新規に検索エンジンが追加されます。

「検索エンジン一覧」で削除する項目を選択し、〈削除〉をクリックすると、リストから外されます。

タイトル

検索エンジンのタイトルを設定します。翻訳検索アイコンをクリックすると、ここで設定した名称が表示されます。

サイトURL

検索エンジンのURLを指定します。

検索URL

検索の際に使用するURLの設定（引数）を指定します。

言語

検索対象となる言語を指定します。

キーワードエンコード

検索キーワードのエンコードを指定します。

上へ／下へ

検索エンジンの順番を上下へ1つずつ移動することができます。移動する辞書を選択して、次のいずれかのボタンをクリックします。

〈上へ〉 （1つ上へ移動）

〈下へ〉 （1つ下へ移動）

3.3 メール翻訳

Windows Liveメール 2009、Windowsメール（Vista）またはOutlook Express（XP）で受信したメールを翻訳して、翻訳結果をメール翻訳ウィンドウに表示できません。

アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

メール翻訳の設定については、『7.8 メール翻訳の設定』を参照してください。

● 翻訳ツールバーの表示

メール翻訳機能をインストールすると、メールソフトには次の翻訳ツールバーが表示されます。



翻訳ツールバーが表示されない場合は、次の手順で表示します。

手順

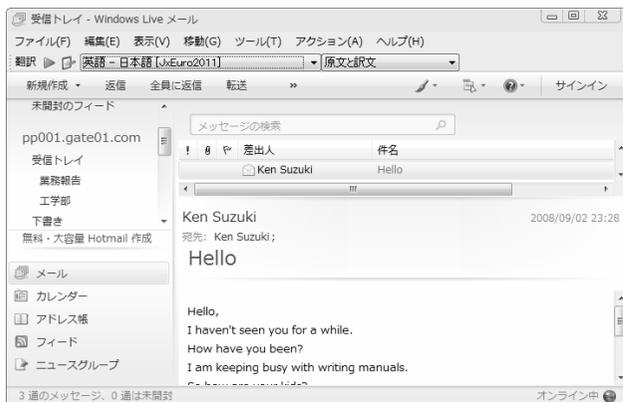
1. Windows Liveメール 2009を起動します。
2. ツールバーの〈メニュー〉をクリックして、プルダウンメニューの「メニューバーの表示」を選択します。
翻訳ツールバーが表示されます。

3.3.1 メール翻訳の実行

メールを翻訳する手順は、以下のとおりです。

手順

1. Windows Liveメール 2009、WindowsメールまたはOutlook Expressを起動して、メール一覧から翻訳したいメールをクリックして選択します。



2. ツールバーの「英語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「英語－日本語」または「日本語－英語」を選択します。

3. 「原文と訳文」の横の▼をクリックし、翻訳結果の表示方法を選びます。「原文と訳文」、「訳文のみ」、「左右対訳」から選択できます。
4. ツールバーの〈翻訳〉▶をクリックします。
メール翻訳が実行され、翻訳結果が新しいウィンドウに表示されます。



メール翻訳は、翻訳エディタの設定ダイアログで設定する「翻訳」、「辞書」の設定にしたがって実行されます。

原文と訳文

原文と訳文を上下に表示します。

訳文のみ

翻訳結果の訳文のみを表示します。

左右対訳

原文と訳文を左右対訳で表示します。



メール翻訳は、受信したメールを翻訳する機能です。
作成したメールを翻訳することはできません。
また、翻訳結果の保存、印刷、メール送信／転送を実行することはできません。

3.4 PDFダイレクトファイル翻訳

PDFダイレクトファイル翻訳では、JxEuroを起動することなく、PDFファイルを翻訳できます。

PDFダイレクトファイル翻訳の設定と制限事項については、『7.9 PDFダイレクトファイル翻訳の設定』を参照してください。

3.4.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行

PDFダイレクトファイル翻訳は以下の手順で行います。



この機能は、PDFファイルを開いているアプリケーション上から実行することはできません。

手順

1. 翻訳したいPDFファイルのアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」を選択します。
名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



2. 「保存する場所」で、翻訳結果のファイルを保存する場所を指定し、「ファイル名」で翻訳結果のファイル名を指定します。初期状態では、原文のファイル名に「_tran」を付加します。
3. 「エンジン」で翻訳するエンジンを指定します。
〈保存〉をクリックすると、翻訳が実行されます。翻訳が終了すると、「保存する場所」に指定したフォルダに、翻訳結果のファイルが保存されます。

3.4.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効

JxEuroをインストールすると、PDFダイレクトファイル翻訳機能がインストールされます。インストールの後、この機能を使用するかを指定することができます。

手順

1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[ツール]—[ダイレクトファイル翻訳設定]を選択します。

ダイレクトファイル翻訳設定ダイアログが表示されます。



2. 「PDFファイル」チェックボックスがオンの場合、右クリックで表示されるショートカットメニューに「ダイレクト翻訳」が追加されます。オフにするとショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」が削除されます。
3. 〈OK〉をクリックします。

これで、PDFダイレクトファイル翻訳機能が有効、または、無効に設定されました。

4 翻訳パレット入門

「翻訳パレット」は、便利で手軽な翻訳コマンドの入ったツールバーです。翻訳パレットには、他のアプリケーションにある文の翻訳や辞書引き機能などが登録されています。

この章では、翻訳パレットの起動、終了、機能と操作方法について説明します。

4.1 翻訳パレットの起動と終了

翻訳パレットの起動と終了方法について説明します。

4.1.1 翻訳パレットの起動

デスクトップにあるJxEuro 2011 翻訳パレットのアイコンをダブルクリックすると、翻訳パレットが起動します。

または、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[JxEuro 2011]ー[翻訳パレット]を選択すると翻訳パレットが起動します。

翻訳パレットが起動すると次のパレットが表示されます。

メモ インストールされていない機能のボタンは翻訳パレットには表示されません。



① 翻訳エディタ

JxEuroの翻訳エディタを起動します。

② ファイル翻訳

ファイル翻訳を起動します。複数のファイルをまとめて翻訳できます。

③ キャプチャ翻訳

画像データを文字認識し、抽出した文章を翻訳します。

④ ワンポイント翻訳

JxEuroを起動しないで、翻訳を実行できます。

⑤ OCR

OCRソフト、「CROSS OCR」を起動します。

メモ OCRは、JxEuro plusに搭載されています。

⑥ 設定

翻訳パレットに表示するボタンの設定と翻訳パレットのバージョン情報の表示を行います。

● 翻訳パレットの並べ方

初期状態では、翻訳パレットのボタンは横に並んでいます。

翻訳パレットのタイトルバーをダブルクリックすると、縦または横に並べ替えることができます。翻訳パレットを縦に並べると、ウィンドウを広く使うことができます。

4.1.2 翻訳パレットの終了

翻訳パレットを終了するには、右上にある閉じるボタン（✕）をクリックします。

4.2 翻訳エディタ

〈翻訳エディタ〉は、翻訳エディタを起動します。

翻訳エディタでは、Webページや他のアプリケーションにある文章を貼り付けて翻訳することができます。翻訳エディタでは、訳語の変更、辞書引き、ユーザー辞書の更新など、翻訳結果の編集を行うこともできます。また、翻訳結果を印刷したり、テキストファイルに保存することができます。

4.3 ファイル翻訳

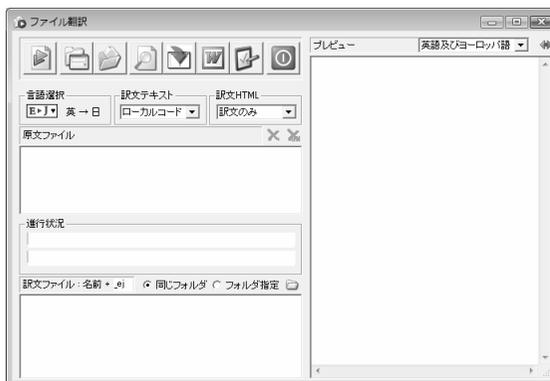
「ファイル翻訳」では、複数のファイルをまとめて翻訳することができます。同じ条件で複数のファイルを翻訳したい場合に便利です。

4.3.1 ファイル翻訳を実行する

ファイル翻訳は、以下の手順で行います。

手順

1. 翻訳パレットの〈ファイル翻訳〉をクリックします。
ファイル翻訳が起動します。

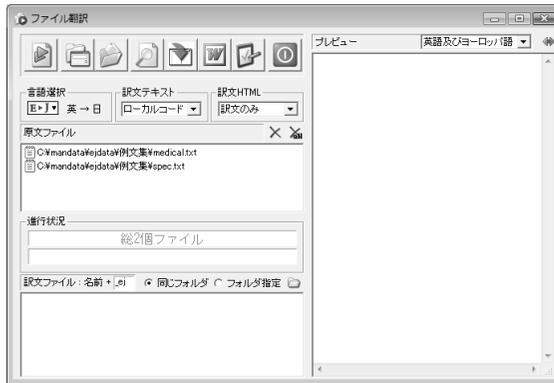


2. 言語選択ボタンから、翻訳する言語ペアを選択します。
3. をクリックし、ファイル指定ダイアログからファイルを選択します。



翻訳するファイルを選んで、〈追加〉をクリックすると、「原文ファイル」欄にファイル名が追加されます。

翻訳できるファイルはテキストファイルまたはHTMLファイルで、最大20個まで選択できます。ファイルを指定し終わったら〈閉じる〉でダイアログを閉じます。



選択したファイルをリストから外す場合は、ファイルを選択して をクリックします。リストにあるすべてのファイルを外す場合は、 をクリックします。

4. 翻訳結果のファイル名と保存する場所を指定します。初期設定では、ファイル名に「_AB」（Aは原文の言語の頭文字、Bは翻訳結果の言語の頭文字。たとえば日本語・英語なら「_ej」）が付加され、原文と同じフォルダに保存されます。保存先のフォルダを変更する場合は、「フォルダ指定」の横の をクリックして指定してください。
5. をクリックすると、翻訳が開始され、「進行状況」に翻訳の進み具合が表示されます。翻訳を中止する場合は、 をクリックしてください。
6. ファイル翻訳を終了するには、右上の閉じるボタン、または をクリックします。

各ボタンの説明

- ファイル翻訳を開始する
- ファイル指定ダイアログを表示する
- 選択したファイルが保存されているフォルダを開く
- 選択したファイルの内容を、右のプレビューウィンドウに表示する
- 選択した翻訳結果のファイルを、翻訳エディタに転送する
- 選択したファイルの内容を、Wordに転送する
- ファイル翻訳の設定ダイアログを開く
- ファイル翻訳を終了する

訳文テキスト

テキストファイルの翻訳結果の文字コードを指定します。ローカルコードを選択すると訳文の言語のコードで、unicodeを選択するとunicodeで出力されます。

訳文HTML

HTMLファイルの翻訳結果の出力方法を指定します。「訳文のみ」、「原文と訳文」が選択できます。また、日⇄欧翻訳の場合は、「原文と訳文（英訳を表示）」を選択することもできます。

4.3.2 ファイル翻訳の設定

をクリックすると、ファイル翻訳の設定ダイアログが開きます。ファイル翻訳はこの設定にしたがって実行されます。

翻訳

選択している言語ペアの翻訳設定を行います。

辞書

選択している言語ペアの辞書設定を行います。

配色

HTMLファイルの訳文の配色を設定します。〈色選択〉をクリックして「訳文の色」、「英訳の色」を設定します。

4.4 キャプチャ翻訳

「キャプチャ翻訳」は、画像データに文字認識を実行し、抽出した文を翻訳する機能です。たとえばホームページでは、広告や宣伝文を画像データで配置することがあります。キャプチャ翻訳を使えばキーボードから入力する必要がなく、画像データを範囲指定するだけで文字認識して、翻訳を実行することができます。また、キャプチャ翻訳では、文字認識のみを実行することもできます。本ツールの設定については、『7.10 ツールの設定』を参照してください。

4.4.1 キャプチャ翻訳の実行

キャプチャ翻訳の手順は以下のとおりです。

- 手順**
1. 翻訳パレットの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
キャプチャ翻訳が起動します。
 2. 翻訳言語を選択します。「エンジン」の右端にある  をクリックして表示される一覧から翻訳言語の組み合わせを選択します。
 3. ダイアログの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
キャプチャ翻訳が開始され、マウスカーソルが「+」に変わります。
 4. マウスをドラッグすると矩形が表示されるので、翻訳する部分を囲みます。



キャプチャ翻訳が開始されます。
結果はキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。



「画像」には、文字認識の対象となる画像が表示されます。

「原文」：文字認識の結果が表示されます。

「訳文」：「原文」に入力された文章の翻訳結果が表示されます。

再度キャプチャ翻訳を実行する場合は、〈キャプチャ翻訳〉をクリックして、手順2のように、範囲を指定します。



ヒント

【「スタート」ボタンから起動】

キャプチャ翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[ツール]—[キャプチャ翻訳]を選択して起動することができます。



ヒント

【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈キャプチャ翻訳〉をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動します。



ヒント

【ホットキーで呼び出し】

キャプチャ翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『7.10 ツールの設定』を参照してください。

● 中止

マウスカーソルが「+」に変わった後、キャプチャ翻訳を中止する場合は、Escキーを押します。

● 翻訳言語の指定

キャプチャ翻訳では、英日と日英翻訳を実行することができます。

「エンジン」には、翻訳を実行する言語が表示されます。

言語を変更する場合は、右端にある▼をクリックして表示される一覧から言語を指定します。

- **認識言語**

欧州語または日本語を認識することができます。

認識言語は、「エンジン」で指定した翻訳言語の原語で指定されます。

「英語－日本語」の場合は欧州語、「日本語－英語」の場合は日本語の文字認識が実行されます。

- **認識可能な文字**

文字認識は、白地に黒文字で、明朝またはゴシックフォントの場合、精度が上がります。以下のケースでは、正しく認識できないことがあります。

- 背景に模様、影、ノイズなどがある
- 文字と背景色が識別しにくい（たとえば、水色や黄色などの背景色に白い文字。黒の背景色に青い文字。）
- 認識対象の画像の文字サイズが200 x 200dpi以下である
- 斜体、筆文字、ポップ文字などデザインされたフォントである

- **文字認識のみ実行**

文字認識のみを実行する場合は、〈キャプチャのみ〉をクリックします。マウスカーソルが「+」に変わったら、文字認識を実行する範囲を指定します。文字認識が実行されて、結果がキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。

- **再翻訳**

背景色と文字色のコントラストが不鮮明であったり、斜体、筆文字、ポップ文字のようにデザインされたフォントの場合、文字が正しく認識されないことがあります。このような場合は、「原文」ボックスの認識結果を修正してから〈翻訳のみ〉をクリックして、再翻訳を実行します。

4.4.2 キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能

キャプチャ翻訳で行える編集作業と表示機能について説明します。

- **編集**

キャプチャ翻訳では、一般的なエディタと同じように、「原文」または「訳文」に表示されている文字列を選択して、編集メニューから[切り取り]、[コピー]などを行えます。

- **常に手前に表示**

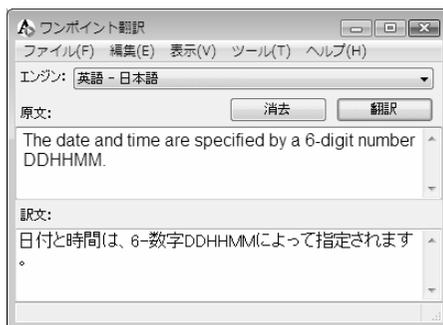
表示メニューの[常に手前に表示]にチェックマークが付与されている場合、キャプチャ翻訳は、常に最前面に表示されます。このコマンドを選択することにチェックマークのオン/オフが切り替わります。

4.5 ワンポイント翻訳

「ワンポイント翻訳」では、JxEuroを起動していない状態でも、すばやく翻訳を実行できます。ここでは、ワンポイント翻訳の手順について説明します。本ツールの設定については、『7.10 ツールの設定』を参照してください。

手順

1. 翻訳パレットの〈ワンポイント翻訳〉をクリックします。
ワンポイント翻訳ウィンドウが表示されます。
2. 翻訳言語を選択します。「エンジン」の右端にある  をクリックして表示される一覧から翻訳言語の組み合わせを選択します。
3. 「原文」に翻訳する文を入力し〈翻訳〉をクリックします。
「訳文」に翻訳結果が表示されます。



ヒント

【「スタート」ボタンから起動】

ワンポイント翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[ツール]—[ワンポイント翻訳]を選択して起動することができます。



ヒント

【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈ワンポイント翻訳〉 をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。



ヒント

【ホットキーで呼び出し】

ワンポイント翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『7.10 ツールの設定』を参照してください。

4.6 OCR

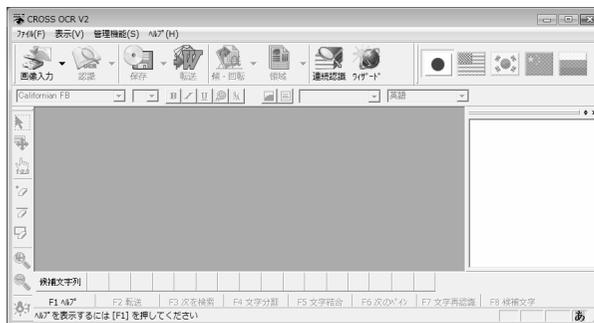
翻訳パレットの「OCR」は、新聞、書類、雑誌の記事や画像などをイメージスキャナから読み込んで、テキストデータに変換する機能です。

メモ 本機能は、JxEuro plusに搭載されています。

手順は以下のとおりです。

手順 1. 翻訳パレットの〈OCR〉をクリックします。

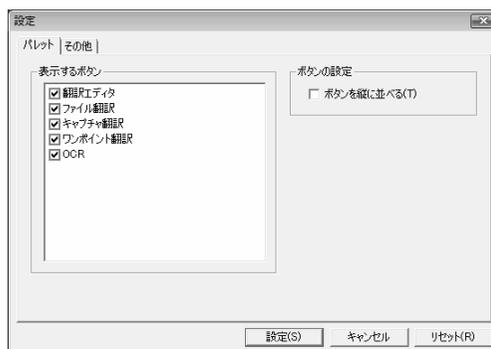
CROSS OCRが起動します。



OCR機能については、『CROSS OCRのヘルプ』を参照してください。
CROSS OCRのヘルプは、CROSS OCRの[ヘルプ]ー[ヘルプトピック]を選択すると表示されます。

4.7 翻訳パレットの設定

〈設定〉では、翻訳パレットに表示するボタンの設定とバージョン情報の表示を行います。〈設定〉をクリックすると、次の設定ダイアログが表示されます。



● パレット

「パレット」タブでは、翻訳パレットに表示するボタンを設定します。

表示するボタン

翻訳パレットに表示するボタンを設定します。チェックボックスをオンにしたボタンが翻訳パレットに表示されます。

ボタンの設定

初期状態で翻訳パレットのボタンは横に並んでいます。「ボタンを縦に並べる」チェックボックスがオンの場合、ボタンは縦に並びます。

● その他

「その他」タブの〈バージョン情報〉をクリックすると、翻訳パレットのバージョンが表示されます。

5 翻訳エディタの機能

この章では、翻訳エディタの使い方について説明します。翻訳エディタでは、英⇄欧、日⇄欧の翻訳を実行して、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などの翻訳作業を行うことができます。

翻訳エディタの基本的な操作、英日翻訳については、『2 翻訳エディタ入門』を参照してください。

5.1 欧州語を日本語に翻訳する

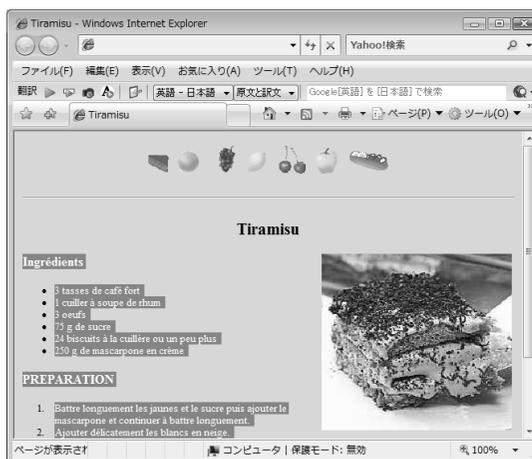
JxEuroの欧日翻訳では、欧州語をいったん英語に翻訳し、その結果を日本語に翻訳します。3面モードを使えば、中間言語の英訳結果が参照でき、さらに理解が深まります。

5.1.1 文章を入力して翻訳

原文の入力は、キーボードから入力、コピー&ペースト、また[ファイル]ー[開く]でテキストファイルを開いて行います。ここでは例として、フランス語のホームページを翻訳エディタで翻訳します。

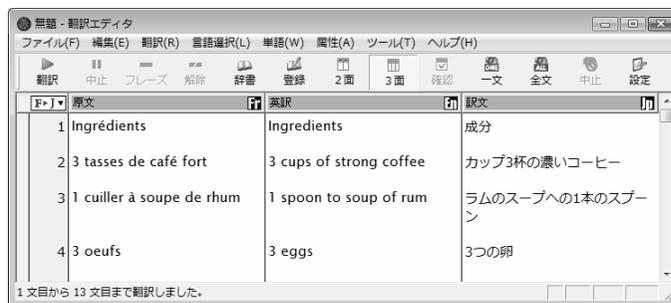
手順

1. 翻訳エディタを起動し、言語選択ボタンから「F▶J」を選択します。3面モードになっていない場合は、ツールバーの〈3面モード〉をクリックして3面モードに変更します。
2. 翻訳するページを表示し、文章をドラッグして選択した後、Ctrl+Cキーを押すか、右クリックして「コピー」を選択します。



3. 翻訳エディタの原文エリアをクリックして、カーソルを置きます。
4. Ctrl+Vキーを押すか、右クリックして「貼り付け」を選択して、文章を貼り付けます。
5. 正しく文分割されているか確認します。文がつながっている場合、文を分割する位置へカーソルを置いてEnterキーを押します。
6. カーソルを文書の先頭に置いて、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

英訳エリアには原文を英語に翻訳した結果、訳文エリアには英訳文を日本語に翻訳した結果が表示されます。



5.1.2 単語の対応

JxEuroには、原文の語句がどのように翻訳されたのか、または、訳語がどの語句に対応しているのかがわかる「訳語対応」機能があります。

任意の語句をダブルクリックすると、原文エリア、英訳エリア、訳文エリアともに、対応する単語が反転表示されます。



5.1.3 訳語の変更

JxEuroには、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。

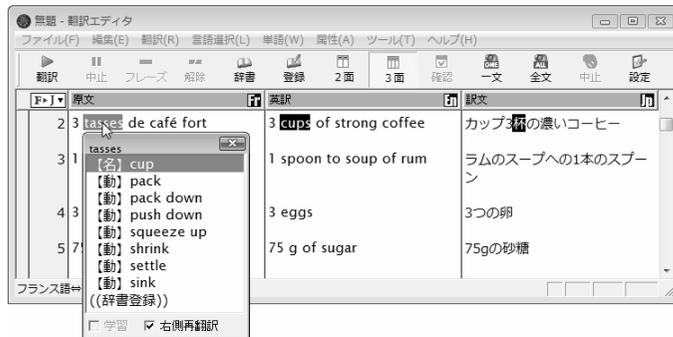
3面モードでは、英訳エリアと訳文エリアで訳語変更を実行することができます。

● 英訳エリアの訳語変更

英訳エリアの訳語変更は、以下の手順で実行します。

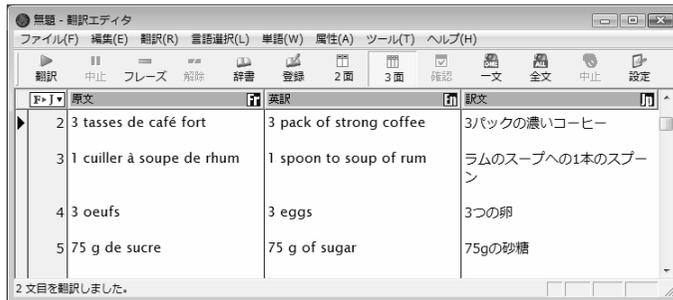
- 手順** ➤
1. 原文エリアまたは英訳エリアの単語を3回続けてクリック（トリプルクリック）します。

訳語変更ダイアログが開き、英語の訳語候補が表示され、訳語の先頭には品詞名が表示されます。



2. 適切な訳語をダブルクリックします。

英訳エリアの訳語が置き換わり、訳文エリアの訳が変更され、英訳ロックがかかります。



ヒント

【訳語の変更と英訳ロック】

欧英翻訳では変更した訳語が学習されないため、訳語を変更しても、再翻訳すると元の訳語に戻ってしまいます。そこで、欧日翻訳で英語の訳語を変更したときには英訳ロックがかかり、欧州語を英語に再翻訳できないようにします。

このとき、英語から日本語の翻訳にはロックがかかっていないため、訳語変更をしたり、英語を書き換えて再翻訳することができます。

● 訳語変更で英文を再翻訳しない

英訳エリアの訳語（欧州語→英語）を変更する際、その結果を日本語に翻訳しないことができます。訳語変更ダイアログの「右側再翻訳」チェックボックスをオフにして、訳語変更を行うと、英訳エリアの語句は置き換わりますが、日本語への翻訳は行われず、翻訳ロックがかかります。



ただし、欧英間（原文エリアと英訳エリア）の単語の対応は表示できますが、英日間（英訳エリアと訳文エリア）の単語の対応は表示できなくなります。

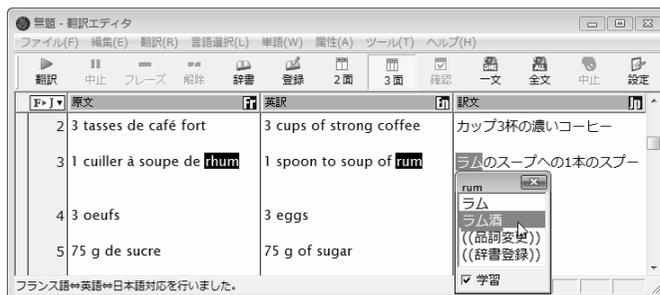
● 訳文エリアの訳語変更

訳文エリアの訳語変更は、以下の手順で実行します。

手順

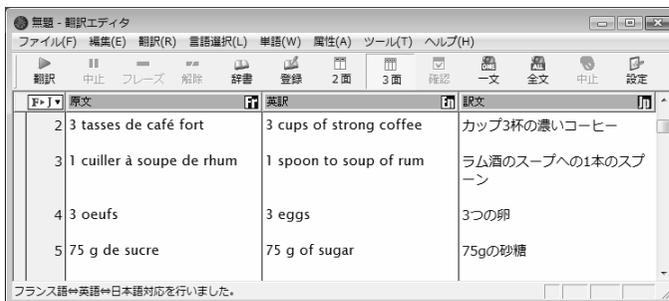
1. 訳文エリアの単語を3回続けてクリック（トリプルクリック）します。

日本語の訳語候補が表示されます。



2. 適切な訳語をダブルクリックします。

訳文エリアの訳語が置き換わります。





ヒント

【2面モードでの訳語変更】

2面モードで欧日翻訳を実行している場合は、原文エリアの単語をトリプルクリックしても、訳文エリアの単語をトリプルクリックしても、日本語の訳語変更ダイアログが表示されます。このとき変更した訳語は、英日の学習辞書に学習されます。

● 翻訳ロック/英訳ロック/ロック解除

欧日3面モードには、「翻訳ロック」と「英訳ロック」機能があります。翻訳ロックは原文エリアの翻訳を禁止し、英訳ロックは英訳エリアの翻訳を禁止する機能です。ロックを設定するには、ロックする文番号の前にマウスポインタを移動して、ポインタの形がに変わったところでクリックします。

一度クリックすると、文番号の前にが付き翻訳ロックがかかります。再度クリックすると、が付き英訳ロックがかかり、3回目のクリックで、ロックが解除されます。

5.1.4 ユーザー辞書に単語を登録する

JxEuroでは、「基本語辞書」にない単語や訳語を「ユーザー辞書」に登録することによって翻訳結果に反映することができます。ユーザー辞書に単語を登録して、翻訳に反映する手順を説明します。

手順

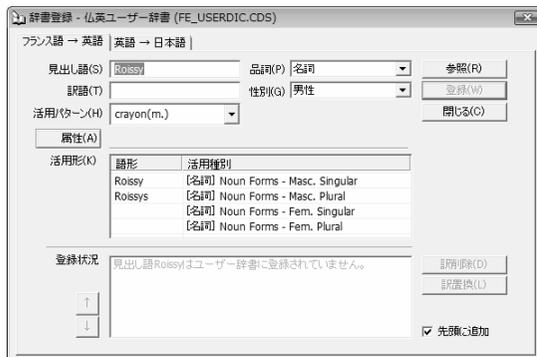
1. 辞書登録する単語をダブルクリックして選択します。



2. ツールバーの〈登録〉 をクリックします。

辞書登録ダイアログが開き、「見出し語」に選択した単語が入力されます。原文エリア・英訳エリアの単語を選択した場合は欧英辞書登録ダイアログが、訳文エリアの単語を選択した場合には英日辞書登録ダイアログが開きます。

3. 「訳語」に訳語を入力し、適切な品詞を選びます。必要に応じて、活用パターンや性別などを設定します。



4. 「登録」をクリックします。続けて英日ユーザー辞書に訳語を登録する場合は、「英語→日本語」タブをクリックし、「見出し語」に英語の見出し語を入力します。



5. 「訳語」に訳語を入力し、品詞と活用形を設定して、「登録」をクリックします。
6. 「閉じる」をクリックして辞書登録ダイアログを閉じます。

5.2 日本語を欧州語に翻訳する

日本語から欧州語への翻訳では、2面／3面モードに加えて、確認モードを表示できます。英訳エリアと確認エリアの文を参照することで、より適切な翻訳が可能になります。

5.2.1 日本語を入力して翻訳

3面＋確認モードを使って日本語の多言語翻訳を実行します。簡潔な言葉で、1文ができるだけ短くなるように書くと翻訳しやすくなります。ここでは、日本語からフランス語の翻訳を例にして説明します。

手順

1. 「翻訳言語ボタン」をクリックし、言語ペアを「日本語▶フランス語」に設定します。ツールバーの〈3面モード〉 をクリックすると3面モードになり、さらにツールバーの〈確認モード〉 をクリックすると、確認エリアが表示されます。



2. 原文エリアに日本語の文章を入力します。1文ごとに改行を入力します。文番号をクリックすると1文翻訳が実行されます。

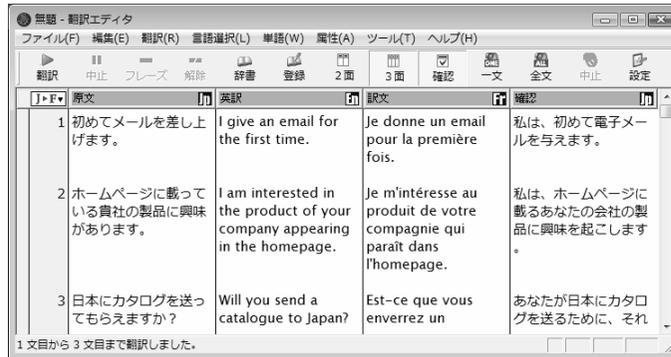


英訳エリアには、日本語を英語に翻訳した結果が表示されます。訳文エリアには、英訳エリアの英文をフランス語に翻訳した結果が表示されます。確認エリアには、訳文エリアのフランス語を日本語に翻訳した結果が表示されます。

3. 文章をすべて入力してから、先頭の文にカーソルを置きます。



4. ツールバーの〈翻訳〉をクリックすると、一括で翻訳します。



● 再翻訳

適切な翻訳結果が出ない場合、英語や欧州語を手直しするより、日本語を別の表現に書き換えて再翻訳したほうが簡単な場合があります。日本語の文章を書き加えたり、修正した場合、先頭の文にカーソルを置いてツールバーの〈翻訳〉をクリックします。1文だけ翻訳する場合は、マウスポインタを文番号へ移動すると、手の形に変わるので、その文番号をクリックします。



【「ら・い」抜き言葉に注意！】

原文の日本語に誤りがあると、正しく英訳できません。「~られる」を「~れる」、「~しています」を「~してます」といった「ら・い」抜きの言葉を使うと、間違った訳文になるので注意してください。



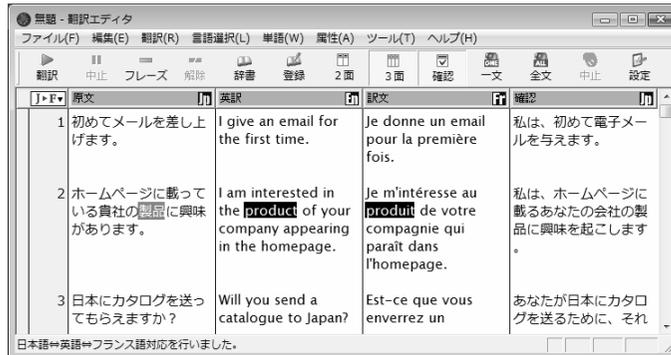
【選択した範囲の再翻訳】

翻訳エディタで、文番号をドラッグして選択し、マウスボタンを離すと、選択した文章が再翻訳されます。または、翻訳を開始する文から最終文までを選択し、ツールバーの〈翻訳〉をクリックすると、再翻訳されます。

5.2.2 単語の対応

JxEuroには、原文の語句がどのように翻訳されたのか、または、訳語がどの語句に対応しているのかがわかる「訳語対応」機能があります。

任意の語句をダブルクリックすると、原文エリア、英訳エリア、訳文エリアとともに、対応する単語が反転表示されます。



確認エリアの単語は、訳語対応できません。

5.2.3 訳語の変更

JxEuroには、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。

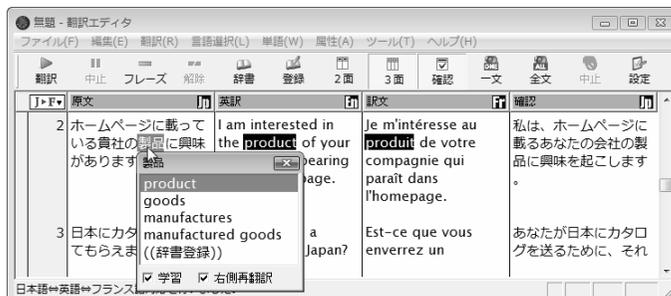
3面モードでは、英訳エリアと訳文エリアで訳語変更を実行することができます。

● 英訳エリアの訳語変更

英訳エリアの訳語は、以下の手順で変更できます。



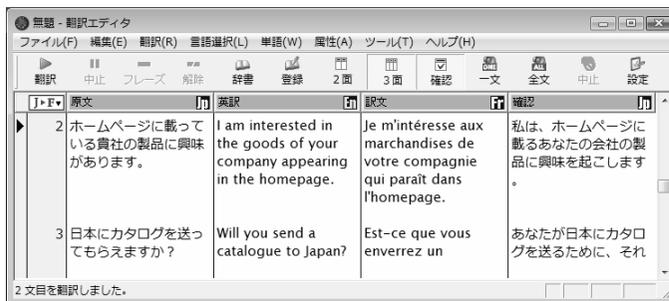
1. 原文エリアまたは英訳エリアの単語を3回続けてクリック（トリプルクリック）します。
2. 訳語変更ダイアログが開き、訳語の候補が表示されます。



3. 適切な訳語をダブルクリックして訳を変更します。



4. 訳文エリアの訳が置き換わり、訳文エリアの訳が変更され、英訳ロックがかかります。



● 訳語変更で英文を再翻訳しない

英訳エリアの訳語（日本語→英語）を変更する際、その結果を欧州語に翻訳しないことができます。訳語変更ダイアログの「右側再翻訳」チェックボックスをオフにして、訳語変更を行うと、英訳エリアの語句は置き換わりますが、欧州語への翻訳は行われません。



ただし、日英間（原文エリアと英訳エリア）の単語の対応は表示できますが、英欧間（英訳エリアと訳文エリア）の単語の対応は表示できなくなります。

● 訳文エリアの訳語変更

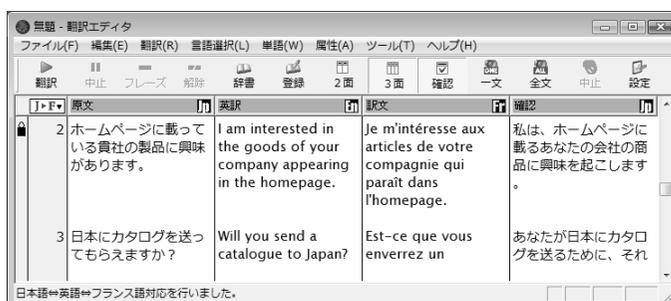
訳文エリアの訳語は、以下の手順で変更できます。

- 手順** 1. 訳文エリアの単語を3回続けてクリック（トリプルクリック）します。
訳語変更ダイアログが開き、訳語の候補が表示されます。



2. 適切な訳語をダブルクリックします。

訳文エリアの訳語が置き換わり、翻訳ロックがかかります。



● 翻訳ロック/英訳ロック/ロック解除

日欧3面モードには、「翻訳ロック」と「英訳ロック」機能があります。翻訳ロックは原文エリアの翻訳を禁止し、英訳ロックは英訳エリアの翻訳を禁止する機能です。

ロックを設定するには、ロックする文番号の前にマウスポインタを移動して、ポインタの形がに変わったところでクリックします。

一度クリックすると、文番号の前にが付き翻訳ロックがかかります。再度クリックすると、が付き翻訳日英ロックがかかり、3回目のクリックで、ロックが解除されます。

5.2.4 ユーザー辞書に単語を登録する

JxEuroでは、「基本語辞書」にない単語や訳語を「ユーザー辞書」に登録することによって翻訳結果に反映することができます。ユーザー辞書に単語を登録して、翻訳に反映する手順を説明します。

手順

1. 辞書登録する単語をドラッグして選択します。



2. ツールバーの〈登録〉をクリックします。

辞書登録ダイアログが開き、「見出し語」に選択した単語が入力されます。原文エリア・英訳エリアの単語を選択した場合は日英辞書登録ダイアログが、訳文エリアの単語を選択した場合には英欧辞書登録ダイアログが開きます。

3. 「訳語」に訳語を入力し、適切な品詞を選びます。必要に応じて、活用パターンや性別などを設定します。



4. 〈登録〉をクリックします。続けて英仏ユーザー辞書に訳語を登録する場合は、「英語→フランス語」タブをクリックし、「見出し語」に英語の見出し語を入力します。



5. 「訳語」に訳語を入力し、品詞と活用形を設定して、〈登録〉をクリックします。
6. 〈閉じる〉をクリックして辞書登録ダイアログを閉じます。

5.3 文書の翻訳

JxEuroには以下の翻訳機能があります。

- 一文翻訳

「一文翻訳」は、指定された文番号の文の翻訳だけを行います。原文を翻訳しやすい形に変更したり、ユーザー辞書に新しく単語を登録した後で再翻訳するなど、対話形式の処理に適しています。

- マウス操作で実行する

翻訳エディタで、翻訳する文の文番号をクリックします。
翻訳結果が訳文エリアに表示されます。

- メニューから実行する

「一文翻訳」は、次の手順で実行します。

手順

1. 翻訳エディタで翻訳する文にカーソルを移動します。
2. **[翻訳]—[一文翻訳]**を選択します。

訳文エリアに翻訳結果が表示されます。

必要な場合は、原文の修正／挿入を行いながら翻訳処理を行ってください。

- カーソルのある文以降の翻訳

手順

1. 翻訳エディタで、翻訳を始めたい文へカーソルを移動します。
カーソルの移動は、スクロールバー、↑← →↓キー、または[編集]-[ジャンプ]コマンドで文番号を指定して行います。
2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックするか、[翻訳]-[翻訳]を選択します。
カーソルのある文以降を一括で翻訳します。

- 連続する文章の翻訳

選択された範囲の文章を翻訳します。

- マウス操作で実行する

翻訳エディタで、翻訳したい範囲の先頭から最後までをドラッグして選択すると、文番号が反転表示されます。マウスのボタンを離すと、文番号が反転している文章が翻訳されます。

- メニューから実行する

手順

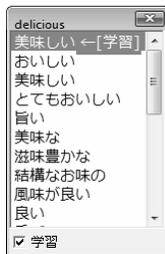
1. 翻訳エディタで、翻訳したい文章をドラッグして選択します。
2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックするか、[翻訳]-[一文翻訳]を選択します。

- 翻訳の中止

翻訳を中止する場合は、ツールバーの〈翻訳中止〉をクリックします。
Escキーを押すか、[翻訳]-[翻訳中止]を選択しても中止できます。

5.4 学習機能

学習機能とは、1つの見出し語に対して複数の訳語が登録されている場合、一度選択した訳語がその後の翻訳で優先的に使われる機能です。訳語変更ダイアログで訳語を選択すると、以降の翻訳ではその訳語が優先的に使われます。また、訳語変更ダイアログで変更した訳語が一番上に表示されます。



このように、訳語の右に「← [学習] 」と表示されていれば、訳語変更の結果が学習されていることを意味します。1つの見出し語に対して、学習機能が有効な訳語は常に1つです。「学習」チェックボックスをオンにした状態で、最後に変更した訳語が常に学習されます。学習機能の設定は、[ツール]－[設定]－[翻訳]で行います。この設定で「訳語を学習する」チェックボックスをオフにした場合、訳語変更ダイアログ下部にある「学習」チェックボックスはオフになり訳語の学習はできなくなります。



英日翻訳で前置詞と接続詞の訳は学習できません。
日英翻訳で助動詞や接続助詞など、システムが内部的に訳語を持っている付属語については学習できません。

● 学習解除

学習情報を消去するには、訳語ダイアログの下部の((学習解除))をダブルクリックします。訳語は学習辞書から削除されますが、文を再翻訳しなければ翻訳結果には反映されません。

● 訳語を学習させない

[ツール]－[設定]－[翻訳]で「訳語を学習する」チェックボックスをオフにすると、すべての翻訳作業で学習辞書は使われません。また、訳語変更ダイアログで「学習」チェックボックスをオンにすることもできません。

5.5 英日／日英翻訳の機能

ここでは、英日または日英翻訳に特化した機能について説明します。英日翻訳には以下の機能が搭載されています。

- 品詞変更
- フレーズ翻訳
- 別解釈
- オプション翻訳

5.5.1 品詞変更 英日のみ

「品詞変更」は訳語の変更と同様、その単語の品詞を変更する機能です。構文的に解釈が難しい文章に対し、翻訳システムでは、最適と思われる品詞を決定して翻訳を行います。品詞変更を行うことにより、システムが誤った解釈をした場合でも、正しい品詞で解釈させることができます。

「品詞変更」は、次の手順でも行えます。

手順

1. 品詞変更する語句をトリプルクリックして、訳語変更ダイアログを表示します。
2. 訳語変更ダイアログの下部にある((品詞変更))をダブルクリックします。
変更する単語の辞書に登録されている品詞がすべて表示されます。



3. 表示された品詞の中から、変更したいものをダブルクリックします。



変更した品詞に従って文が自動的に再翻訳され、ロックがかかります。



変更した品詞が適切でない場合、翻訳システムは構文解析に失敗することがあります。

5.5.2 フレーズ翻訳 英日／日英のみ

JxEuroの翻訳では、原文が曖昧な場合、語句の係り方や修飾先を誤ることがあります。曖昧な文とは、語句がどこにかかるか、どの語句を修飾しているかなど、多義に解析できる文のことです。

このような場合、部分的な句や節をあらかじめ指定して、係りや修飾先の可能性を限定すると翻訳の精度が向上します。

「フレーズ翻訳」は、係り受けのあいまいな部分をあらかじめ1つの「句」と指定してから翻訳する機能です。

● フレーズ指定して翻訳する

次の例文で説明します。

例文

All students are expected to submit an interim report in March and a final report in May.

翻訳による素訳

すべての学生は、5月に3月と最終報告で中間報告を提出することになっています。

求めたい訳

すべての学生は、3月の中間報告と5月の最終報告を提出することになっています。

翻訳の素訳について

前出の例文では、"March"と"a final report"が並列になっていますが、実際には"an interim report in March"と"a final report in May"を並列に解析すべきです。

フレーズ翻訳の手順は以下のとおりです。

手順

1. フレーズ指定する範囲をドラッグして選択し、ツールバーの〈フレーズ〉 をクリックします。

例文では"an interim report in March"を選択して、 をクリックします。フレーズ指定した部分は、文字列の背景色が変更されます。

2. もう一つのフレーズを指定します。

例文では、"a final report in May"を選択して、 をクリックします。

3. 文番号をクリックして再翻訳します。

訳文が表示されます。

3	All students are expected to submit an interim report in March and a final report in May.	すべての学生は、3月の中間報告と5月の最終報告を提出することになっています。
---	---	--

● 1文に複数のフレーズを指定する

ひとつの文に最大31個までフレーズの指定ができます。また、フレーズ指定した範囲を含むさらに広い範囲をフレーズとして指定できます。ただし、フレーズ指定されている部分の一部にまたがってフレーズ指定することはできません。

● フレーズを解除する

フレーズを解除するには、フレーズ指定した部分にカーソルを置いて、ツールバーの〈フレーズ解除〉 をクリックします。

フレーズ指定した部分の一部またはすべてを選択した状態では、フレーズ解除は実行できません。また、フレーズを解除しても再翻訳するまで、訳文は変わりません。

● フレーズ種別の指定

フレーズ指定では、そのフレーズが何の品詞であるかは、自動判別されます。自動判別では正しく翻訳されない場合は、フレーズ指定した部分にカーソルを置き、[属性]－[フレーズ変更]から品詞句を選択して、再翻訳します。

● 英日のフレーズの種類

英日翻訳で指定できるフレーズの種類は、以下のとおりです。

翻訳しない

フレーズ指定した部分だけが英語のまま表示される。指定したフレーズは [ツール]—[設定]—[フォントと配色]の「翻訳しない」で指定した色で表示される。

名詞句

名詞と同じ働きをし、文中で主語（～は）、目的語（～を）になる。

例文

Playing tennis is easy for me. (主語)
テニスをすることは私には簡単だ。

I want to travel to the moon.
私は月へ行くことを望む。(目的語)

動詞句

動詞が他の語と結びついて、ひとつの動詞のような働きをする。

例文

I called at his house. (動詞+前置詞)
私は彼の家を訪問した。

You should pay attention to his story. (動詞+名詞+前置詞)
あなたは彼の話に注意を払うべきだ。

形容詞句

2つ以上の語が集まって形容詞と同じ働きをする。

例文

I am familiar with this street.
この通りはよく知っている。

I am afraid of dog.
私は犬が怖い。

副詞句

副詞と同じ働きをして、動詞、形容詞、副詞などを修飾する。

例文

Read it after her.
彼女の後でそれを読みなさい。

This work is difficult for us.
この仕事は私たちには難しい。

● 日英のフレーズの種類

日英翻訳で指定できるフレーズの種類は、以下のとおりです。

翻訳しない

フレーズ指定した部分だけが日本語のまま表示される。指定したフレーズは [ツール]－[設定]－[フォントと配色]の「翻訳しない」で指定した色で表示される。

名詞句

複数の語からなり、全体として名詞になる。

【例】赤い花、構造主義、ゆうべ見た夢

動詞句

複数の語からなり、全体として動詞になる。

【例】工場が建つ、車を走らせた、学校に行って

例文

声を出して読み言葉を味わう。

I read aloud and taste a word.

形容詞句

複数の語からなり、全体として形容詞になる。

【例】顔色が悪い、波が高い、非常に金持ちなので

例文

今日は暖かく、日差しがまぶしい。

It is warm today, and sunlight is dazzling.

副詞句

複数の語からなり、全体として副詞になる語句。

【例】家の裏で、先日の日曜日に、空高く

5.5.3 別解釈 英日のみ

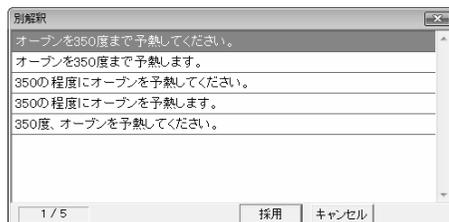
構文的に正しい解析結果の中から、意味的にも正しい解釈を選択することは、訳語の選択と同様、翻訳システムには難しい問題です。「別解釈」は、カーソル位置の英文の複数訳を表示し、その中からもっとも適当な文を選択する機能です。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. 別解釈したい文にカーソルを置きます。
2. [翻訳]－[別解釈]を選択します。

別解釈が表示されます。別解釈がない場合は1つの解釈だけが表示されます。画面に入り切らない場合は、右側のスクロールバーを使用して画面をスクロールさせます。



3. 最適な解釈を選択し、〈採用〉をクリックします。

訳文が変更され、翻訳ロックがかかります。

〈キャンセル〉をクリックすると元の画面に戻ります。



ヒント

「別解釈」で選択した文には翻訳ロックがかかります。

別解釈は学習されないの、文を再翻訳すると元の翻訳結果に戻ってしまいます。不注意に再翻訳しないよう、翻訳ロックがかかります。

5.5.4 オプション翻訳 英日のみ

「開く」でテキストファイルを読み込む際、その文章がタイトル文か、箇条書きかななどを自動的に判別します。ただし、文章によってはJxEuroの文分割の基準にあてはまらず、正しく認識されない場合があります。オプション翻訳は、文章を「タイトル」、「箇条書き」と指定して、適切な翻訳を実行する機能です。

メモ 複数の文を選択した状態で、「タイトル翻訳」、「箇条書き翻訳」を実行すると、選択した文章を一度に翻訳することができます。

● タイトル翻訳

JxEuroは「開く」でテキストを読み込む際、その文がタイトルかを自動的に判別します。タイトルは通常、大文字で書かれ、文は短くなります。

タイトル文と判断されると、大文字を小文字にして訳し、なるべく名詞句として訳されます。また、属性エリアに「T」がつけます。

ただし、タイトルとして判別できないこともあります。このような場合「タイトル翻訳」を実行すると、選択された文は[ツール]—[設定]—[翻訳(英日)]で設定された条件に従わず、「大文字を小文字にして訳す」で翻訳されます。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. タイトル翻訳したい文にカーソルを置きます。

連続する文章を処理したい場合は、文章を選択してください。

2. [翻訳]—[オプション翻訳]—[タイトル翻訳]を選択します。

指定した文または選択した文章がタイトル翻訳され、属性エリアに「T」がつけます。

● 箇条書き翻訳

JxEuroは[開く]でテキストを読み込む際、その文が箇条書きかを自動的に判別します。

箇条書きとは、1、(1)、(a)などが先頭にある文です。箇条書きと判断された文は、属性エリアに口がつきます。

「箇条書き翻訳」では、文の先頭の列挙記号を無視して翻訳し、訳の先頭に無視された列挙記号を付加します。

たとえば、"c Open the file."を通常翻訳で訳すと、「cは、ファイルを開きます。」となります。

この文を「箇条書き翻訳」すると「c ファイルを開いてください。」となります。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. 箇条書き翻訳したい文にカーソルを置きます。

連続する文章を処理したい場合は、文章を選択してください。

2. 【翻訳】－【オプション翻訳】－【箇条書き翻訳】を選択します。

指定した文または選択した文章が箇条書き翻訳され、属性エリアに口（小さい四角）がつきます。

● 通常翻訳

タイトルまたは箇条書きと判定された文を通常文として翻訳したい場合や、「タイトル翻訳」や「箇条書き翻訳」で翻訳した文を通常の文に戻したい場合に使用します。

手順は、以下のとおりです。

手順

1. 通常翻訳したい文にカーソルを置きます。

連続する文章を処理したい場合は、文章を選択してください。

2. 【翻訳】－【オプション翻訳】－【通常翻訳】を選択します。

指定した文または選択した文章が翻訳されます。

5.6 翻訳ロックと翻訳ロック解除

「翻訳ロック」は翻訳を行いたくない文に  マークを付け、その文章の翻訳結果を保護するものです。

翻訳結果の訳文を直接編集したり、訳語変更で訳文を修正しても、その文を再翻訳すると、元の翻訳結果に戻ってしまいます。このように再翻訳したくない文を保護するのが、「翻訳ロック」機能です。

● 翻訳ロックの実行

ロックしたい文番号の文番号エリアへマウスポインタを移動し、マウスが矢印から鍵の形  に変わったところでクリックすると  が付き、文がロックされます。 を直接クリックするとマークが消えて文のロックが解除されます。

● 英訳ロック

欧日、日欧翻訳には、「翻訳ロック」と「英訳ロック」機能があります。翻訳ロックは原文エリアの翻訳を禁止し、英訳ロックは英訳エリアの翻訳を禁止する機能です。

ロックを設定するには、ロックする文番号の前にマウスポインタを移動して、ポインタの形が  に変わったところでクリックします。

一度クリックすると、文番号の前に  が付き翻訳ロックがかかります。再度クリックすると、 が付き英訳ロックがかかり、3回目のクリックで、ロックが解除されます。

5.7 音声読み上げ

「音声読み上げ」は、翻訳エディタの英文を読み上げる機能です。

5.7.1 音声読み上げを実行する

音声読み上げの手順は以下のとおりです。

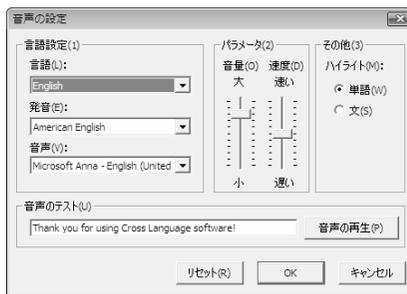


1. 音声読み上げを行う英文へカーソルを置きます。
2. 〈音声読み上げ(一文)〉 をクリックするか、[ツール]ー[音声読み上げ(一文)]を選択すると、カーソルのある文を読み上げます。
〈音声読み上げ(全文)〉 をクリックするか、[ツール]ー[音声読み上げ(全文)]を選択すると、全文を読み上げます。

中止する場合は、〈音声出力中止〉 をクリックするか、[ツール]ー[音声出力中止]を選択します。

5.7.2 音声読み上げの設定

[ツール]ー[音声の設定]を選択すると、音声の設定ダイアログが表示されます。ここから音声読み上げの設定が行えます。



言語設定

読み上げる言語・発音・音声を設定します。各項目の▼をクリックし、プルダウンメニューから選択します。



ヒント

JxEuroでは、言語は「English」、発音は「American English」、音声は「Microsoft Sam」がインストールされます。選択できる言語や発音、音声は、使用しているOSのバージョンやインストールされているソフトウェアによって異なります。

パラメータ

読み上げる音量とスピードを設定します。

ハイライト

読み上げる際に反転表示される部分を設定します。「単語」を選択すると、翻訳エディタで現在読み上げられている単語が反転表示されます。「文」を選択すると、現在読み上げられている文全体が反転表示されます。

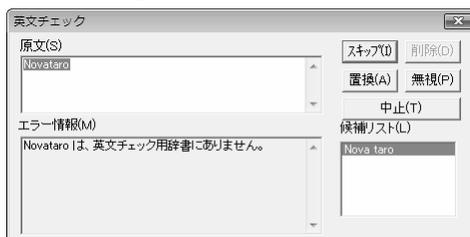
〈OK〉をクリックすると、設定が保存され、ダイアログが閉じます。設定を保存せずにダイアログを閉じるには、右上の閉じるボタンをクリックするか、〈キャンセル〉をクリックします。

5.8 英文チェック

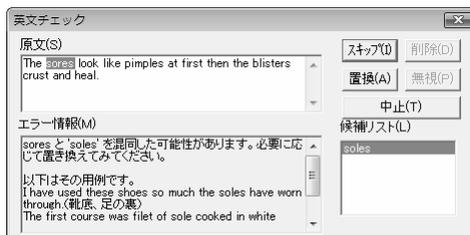
英文チェックでは、英語のスペルチェックと文法チェックを行えます。スペルチェックは、英文のスペルミスと考えられる単語を指摘し、文法チェックは、文法的な誤りや不適当な言い回しを指摘します。スペルチェックのみ行うのか、文法チェックも同時に行うのか、また、文法チェックのレベルなどは、[ツール]ー[設定]ー[英文チェック]で設定します。英文チェックの設定については、『7.4 英文チェックの設定』を参照してください。

手順は、以下のとおりです。

- 手順**
1. 英文チェックを行う文へカーソルを置きます。
 2. [ツール]ー[英文チェック]を選択すると、英文チェックが開始されます。



スペルミスと判断された例



文法チェックで誤りと判断された例

3. 候補リストで選択されている単語に置き換える場合は〈置換〉を、置換せずにチェックを終了する場合は〈中止〉をクリックします。



ヒント

【英文チェックで使用される辞書】

英文チェック機能は、あくまでも一般的な英語に対するスペルチェックを行うためのもので、英文チェック用の辞書はJxEuroの基本語辞書や専門語辞書とは異なる独立した辞書を使用しています。このため、ハイフンを含む複合語や専門用語はスペルミスとして指摘されることがあります。

6 辞書の活用

JxEuroでは、基本語辞書のほかに専門語辞書やユーザー辞書を使用して翻訳することができます。

この章では、翻訳に使用する辞書の設定方法、ユーザー辞書の構築方法などを説明します。

6.1 翻訳辞書の参照

辞書参照は、基本語辞書、専門語辞書、ユーザー辞書、学習辞書に登録されている単語の意味や品詞などを表示する機能です。

手順

1. 訳語を調べたい語句をドラッグして選択します。
2. ツールバーの〈辞書参照〉をクリックします。
3. 辞書参照ダイアログが開き、辞書に登録されている意味、品詞が表示されます。



4. 辞書の参照が終わったら、閉じるボタン (X) をクリックしてダイアログを閉じます。

メモ 辞書参照ダイアログは、ウィンドウのようにサイズを変更することができます。また、参照した単語の履歴が保存されるので、一度見た単語を参照する場合は、履歴から選択することができます。

6.2 ユーザー辞書に単語を登録する

基本語辞書や専門語辞書にない語句は、ユーザー辞書に登録します。ユーザー辞書は、翻訳エンジンごとに作成され、品詞ごとに入力項目が異なります。英⇄日ユーザー辞書は、新しく作成することもできます。

6.2.1 英⇄日ユーザー辞書登録

ユーザー辞書に語句を登録することにより、翻訳精度が向上します。ユーザー辞書は、辞書登録ダイアログに「見出し語」と「訳語」を入力するだけ更新できます。また品詞や活用形などを指定することにより、より正確に訳せるようになります。

手順は以下のとおりです。

手順

1. ツールバーの〈登録〉をクリックすると辞書登録ダイアログが表示されますので、登録する語句を「見出し語」に入力します。



辞書登録 - ユーザー辞書 (E_USERDIC.UDC)

見出し語(S) 複数形

訳語(T)

品詞(P)

登録状況

先購に追加

2. 「訳語」を入力し、品詞を選択します。
3. 選択した品詞に応じて、名詞の複数形や活用パターンなどを入力します。入力する情報は、言語や品詞ごとに異なります。
4. 〈登録〉をクリックします。

辞書登録ダイアログの項目は、以下のとおりです。

参照

「見出し語」ボックスの内容を変更すると、〈参照〉を使用できるようになります。〈参照〉をクリックすると、辞書登録の内容を訳語リストボックスへ表示します。

先頭に追加

このチェックボックスがオンの場合、登録した訳語は訳語リストの先頭に追加されます。

オフの場合、訳語はリストの最後に追加されます。翻訳では、訳語リストの先頭訳語を第一訳として訳出するので、最適な訳を先頭にします。また、訳出頻度の低い訳語はオフにして登録し、リストの最後に追加するようにします。

削除

〈削除〉をクリックすると、見出し語に対して登録しているすべての訳語を削除します。特定の訳語のみ削除する場合は、登録訳語の一覧から削除する訳語を選択して、〈訳削除〉をクリックします。一度削除すると元に戻せないで注意してください。

訳削除

〈訳削除〉をクリックすると、選択した訳語がユーザー辞書から削除されます。

訳置換

すでにユーザー辞書に登録した訳語を修正する場合は、〈訳置換〉を使います。修正する訳語を訳語リスト内で選択すると、登録内容が各ボックスに表示されます。



訳語を修正して〈訳置換〉をクリックします。修正内容が登録されます。

- 英日ユーザー辞書登録

- 見出し語

- 半角で100文字まで入力できます。

- 訳語

- 全角で50文字まで入力できます。

- 品詞

- 名詞、動詞、形容詞、副詞の4種類です。

- 活用形

- 自動的に入力されます。これが間違っている場合は、修正してください。名詞の単複同形の場合、複数形は空欄にします。形容詞や副詞で比較変化しない場合や、more, mostがつく場合は、比較級と最上級ともに空欄にします。

- 日英ユーザー辞書登録

- 見出し語

- 全角で50文字まで入力できます。

- 訳語

- 半角で100文字まで入力できます。

- 品詞

- 名詞、動詞、形容(動)詞、副詞、格助詞、連体助詞の6種類です。

- 活用形

- 自動的に入力されます。これが間違っている場合は、修正してください。名詞の複数形、動詞の過去形、過去分詞形、などを入力します。

- 意味索性

- 見出し語、または、パターンの主語や目的語などに付加する意味索性を指定します。「意味索性」とは、語句にもともと備わっている意味のことです。たとえば、「東京」という語句は名詞ですが、「場所」および「地名」という意味を持っているので、意味索性に「場所」「地名」を指定します。

- パターン

- 日本語の構文パターンを指定します。



【構文パターンの指定】

動詞や形容（動）詞は、構文パターンによる詳細登録を行えます。構文パターンの種類は以下のとおりです。

「～が～する」（～は～する）

「～が～を～する」（～は～を～する）

「～が～に～を～する」（～は～に～を～する）

「～が～に～する」（～は～に～する）

「～が～と～する」（～は～と～する）

の5とおりがあります。

選択した構文パターンに応じて、主語や目的語の意味素性を指定します。

6.2.2 英⇄欧ユーザー辞書登録

英語から欧州語、欧州語から英語のユーザー辞書登録は、以下の手順で行います。

手順

1. ツールバーの〈登録〉をクリックすると辞書登録ダイアログが表示されますので、登録する語句を「見出し語」に入力されます。

2. 「訳語」を入力し、品詞を選択します。
3. 選択した品詞に応じて、名詞の複数形や活用パターンなどを入力します。入力する情報は、言語や品詞ごとに異なります。
4. 〈登録〉をクリックします。

辞書登録ダイアログの項目は、以下のとおりです。

参照

「見出し語」の内容を変更すると、〈参照〉を使用できるようになります。〈参照〉をクリックすると、辞書登録の内容を訳語リストボックスへ表示します。

先頭に追加

このチェックボックスがオンの場合、登録した訳語は訳語リストの先頭に追加されます。

オフの場合、訳語はリストの最後に追加されます。翻訳では、訳語リストの先頭訳語を第一訳として訳出するので、最適な訳を先頭にします。また、訳出頻度の低い訳語はオフにして登録し、リストの最後に追加するようにします。訳語を選択し、  をクリックしても、訳語の優先順位を変更することができます。

訳削除

〈訳削除〉をクリックすると、選択した訳語がユーザー辞書から削除されます。

訳置換

すでにユーザー辞書に登録した訳語を修正する場合は、〈訳置換〉を使います。修正する訳語を訳語リスト内で選択すると、登録内容が各ボックスに表示されます。

訳語を修正して〈訳置換〉をクリックすると、修正内容が登録されます。

● 英欧ユーザー辞書登録

見出し語

半角で100文字まで入力できます。

訳語

半角で100文字まで入力できます。

品詞

名詞、動詞、形容詞、副詞、冠詞の5種類です。

活用パターン

「見出し語」に活用がある場合、「活用パターン」をクリックし、一覧からパターンを指定します。表示されるパターンは、言語や品詞により異なります。

属性

見出し語が名詞の場合、「属性」をクリックし、属性ダイアログから属性を指定できます。

● 欧英ユーザー辞書登録

見出し語

半角で100文字まで入力できます。

訳語

半角で100文字まで入力できます。

品詞

名詞、動詞、形容詞、副詞、冠詞の5種類です。

活用パターン

「見出し語」に活用がある場合、「活用パターン」をクリックし、一覧からパターンを指定します。表示されるパターンは、言語や品詞により異なります。

性別

「見出し語」の性別を選択します。

属性

見出し語が名詞の場合、「属性」をクリックし、属性ダイアログから属性を指定できます。

6.2.3 ユーザー辞書を新規作成する

英⇄日のユーザー辞書は必要に応じて複数作成できます。新しいユーザー辞書は以下の手順で作成します。



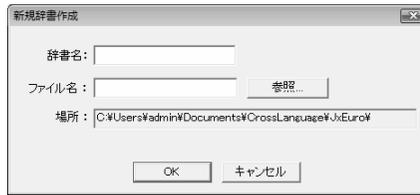
英⇄欧ユーザー辞書は新規作成できません。

手順

1. 設定ダイアログの「辞書」タブをクリックします。



2. 〈新規〉をクリックします。



3. 「辞書名」に新規作成する辞書の名称、「ファイル名」に辞書のファイル名を入力します。

辞書名は省略できます。その場合、ファイル名と同じ名前が付けられます。初期状態で、ユーザー辞書は、以下の場所に作成されます。

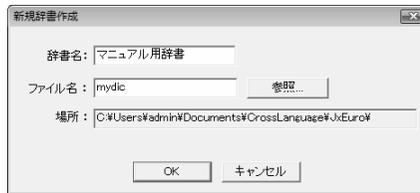
Windows 7：[ライブラリ] [ドキュメント] [CrossLanguage] [JxEuro]

Windows Vista：[ユーザー名] [ドキュメント] [CrossLanguage] [JxEuro]

Windows XP：[マイドキュメント] [CrossLanguage] [JxEuro]

「場所」には、ユーザー辞書の保存場所がフルパスで表示されています。

4. たとえば、「辞書名」に「マニュアル用辞書」、「ファイル名」にmydicと入力します。



5. 〈OK〉をクリックすると、辞書設定ダイアログに、指定した新規ユーザー辞書が追加されます。



6. 〈設定〉をクリックして、辞書設定ダイアログを閉じます。

6.2.4 書き込み可能なユーザー辞書を指定する

英⇄日ユーザー辞書は、目的に応じて複数作成して使用することができます。ただし、書き込み可能な（登録用）辞書として指定できるのは1つだけです。辞書ダイアログにユーザー辞書がない場合は、最初に指定されたユーザー辞書が、書き込み可能なユーザー辞書に設定されます。書き込み可能なユーザー辞書を変更するには、目的のユーザー辞書を選択して、〈書込辞書〉をクリックします。書き込み可能なユーザー辞書がリストからはずされると、リストの一番上にあるユーザー辞書が、書き込み用辞書になります。



専門語辞書や基本語辞書を書込辞書に設定することはできません。

6.2.5 翻訳で使用する辞書を指定する

英⇄日翻訳では専門語辞書とユーザー辞書を合わせて10個まで、英⇄欧翻訳では専門語辞書とユーザー辞書を合わせて5個まで、同時に使用できます。辞書設定ダイアログで〈追加〉をクリックすると、辞書選択ダイアログが表示されます。インストールした専門語辞書がある場合、専門語辞書名が表示されます。このダイアログで辞書名の前にあるチェックボックスをオンにすると辞書設定ダイアログの辞書リストに追加されます、逆に、オフにすると辞書リストからはずされます。



チェックボックスのオン/オフを設定して、〈追加〉をクリックすると、辞書設定ダイアログに戻ります。



この例では、「コンピュータ辞書」を設定しました。

辞書設定ダイアログのリストから辞書をはずすには、はずす辞書を選択して、Deleteキーを押すか、または〈解除〉をクリックします。



英⇄欧ユーザー辞書は解除できません。

● 辞書リストの優先順位

翻訳では、リストにある辞書を上から順番に参照し、訳語が見つかったら、以降の辞書は参照しません。優先的に使用したい辞書は上段へ置きます。翻訳エディタの設定ダイアログで辞書リストの順番を変更する場合は、辞書名をドラッグして（ポインタがになる）、移動先の位置でマウスのボタンを離します。

前後へ1つずつ移動する場合は、移動する辞書を選択して、次のいずれかのボタンをクリックします。

 (1つ前へ移動)

 (1つ後ろへ移動)

6.3 専門語辞書を使う

JxEuroでは、基本語辞書のほかにユーザー辞書と専門語辞書を同時に使用できます。

専門語辞書は、インストールしただけでは使用できません。各言語の設定ダイアログで使用する辞書として専門語辞書を追加する必要があります。

初期状態で専門語辞書は、次のフォルダにインストールされます。

[CrossLanguage] [JxEuro3.1] [TechDic] [各専門分野]

英⇄日翻訳では専門語辞書とユーザー辞書を合わせて10個まで、英⇄欧翻訳では専門語辞書とユーザー辞書を合わせて5個まで、同時に使用できます。

手順

1. 設定ダイアログの「辞書」タブをクリックします。



2. 〈追加〉をクリックします。

辞書選択ダイアログが表示されます。

3. 辞書選択ダイアログで辞書名の前にあるチェックボックスをオンにします。



4. 〈追加〉をクリックすると、辞書設定ダイアログに、指定した専門語辞書が追加されます。
5. 〈設定〉をクリックして設定ダイアログを閉じます。



欧⇄日翻訳で専門語辞書を使用する場合は、日英／英欧と欧英／英日で同じ専門語辞書を設定してください。

6.4 アップデート

クロスランゲージでは、製品ごとにアップデートプログラムをリリースする場合があります。「アップデートの確認」機能は、ご使用のソフトウェアにアップデートプログラムの適用が必要なのかチェックします。ご使用の製品のバージョンより新しいバージョンのプログラムがある場合は、ダウンロードサイトから、アップデートプログラムをダウンロードしてください。

初期状態では、翻訳エディタの起動時にアップデートプログラムの適用が必要なのかチェックが実行されます。起動時の確認に関しては、頻度を設定することができます。頻度の設定については、後述する『アップデートのお知らせ設定』を参照してください。

アップデートが必要な場合は、アップデートの情報ダイアログが表示されます。アップデートを実行する場合は、〈ダウンロードページへ〉をクリックします。各種製品のダウンロードページが表示されるので、必要な製品のアップデートを実行します。

● アップデートの確認

アップデートプログラムの有無は翻訳エディタの起動時にチェックすることができますが、次の方法で確認することもできます。

翻訳エディタから実行

[ヘルプ]—[アップデートの確認]を選択します。

スタートボタンから実行

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[JxEuro 2011]—[アップデート]—[アップデートの確認]を選択します。

● アップデートのお知らせ設定

アップデートの確認を行う頻度を指定することができます。

アップデートの情報ダイアログで〈設定〉をクリックするか、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[JxEuro 2011]－[アップデート]－[アップデートのお知らせ設定]を選択すると、アップデートのお知らせ設定ダイアログが表示されます。

頻度の設定

翻訳エディタの起動時にアップデートの確認を実行する頻度を指定します。

確認しない

アップデートの確認を行わないアプリケーションを指定します。

弊社製品を複数インストールしている場合、処理対照となるアプリケーションが一覧表示されます。確認を行わないアプリケーションのチェックボックスをオンにします。

7 環境の設定

JxEuroでは翻訳作業の環境を自由に設定することができます。環境を適切に設定すれば、翻訳時間の短縮、翻訳精度の向上を図ることができます。この章では、環境の設定について説明します。

7.1 英日翻訳の設定

英日翻訳で、[ツール]—[設定]—[翻訳]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



● 訳出方法

大文字を小文字にして訳す

文章が大文字だけで書かれている場合は、オンにしてください。たとえば、Webページには大文字だけで書いた文章が多いので、このチェックボックスをオンにするといいでしょう。

たとえば、チェックボックスをオフにした状態で以下の文章を訳すと、次のような結果になります。

I have a pen.	私は、ペンを持ちます。
I have a PEN.	私は、PENを持ちます。
I have A PeN.	私は、A PeNを持ちます。
I HAVE A PEN.	i HAVE A PEN。

チェックボックスをオンにすると、文中の大文字の単語を小文字にして訳すため、いずれも「私は、ペンを持ちます。」と訳されます。

システムが「タイトル文」と判断した文は、この項目の設定に従わずに大文字を小文字にして訳します。

長い文章を節・区ごとに区切って訳す

和文の語順を普通の日本語の順序にするか、できるだけ元の英文の語順を保存して訳すかを指定します。たとえば"I know that he is ill."という文は次のように訳出されます。

節・句ごとに区切らずに訳す

「私は、彼が病気であるということを知っています。」

節・句ごとに区切って訳す

「私は、知っています—彼は病気であるということ。」

特に長い文が多い場合は、節・句ごとに区切って訳した方が英文との対応が取りやすく理解もしやすくなります。

命令文を平叙文として訳す

このチェックボックスがオフの場合、命令形の訳が「～しなさい。」(である調の場合)、あるいは「～してください。」(ですます調の場合)となります。オンの場合「～する。」、または「～します。」となります。マニュアルなどの翻訳では、平叙文として訳すように指定する方が良いでしょう。

ですます調で訳す

このチェックボックスがオフの場合は「である調」で訳します。文末を「である調」で訳すか、「ですます調」で訳すかを指定します。同じ文書の中ではどちらかに統一されます。

カタカナを「・」でつなぐ

カタカナの連結語の訳で中黒（・）を入れるかを指定します。たとえば、"wireless headphone"などを訳したときに『ワイヤレス・ヘッドホン』と中黒（・）を入れるか、『ワイヤレスヘッドホン』と中黒（・）無しにするかを選択します。

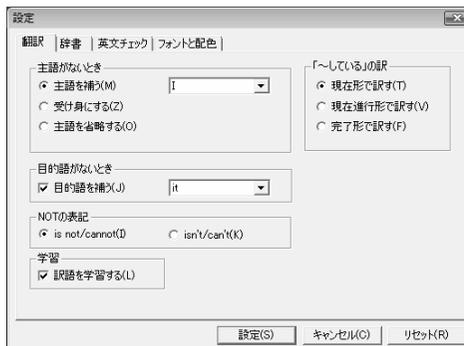
● 学習

訳語を学習する

このチェックボックスがオンの場合、学習辞書を使用して翻訳します。オフの場合は、翻訳の際、学習辞書を使用しません。

7.2 日英翻訳の設定

日英翻訳で、[ツール]—[設定]—[翻訳]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



● 主語がないとき

日本語では、文脈から主語を推測できる場合は、よく主語が省略されます。しかし、英文では、ほとんどのケースで主語が必要です。そのような文をどう翻訳するかを指定します。

主語を補う

主語を補って翻訳します。「I, you, it, he, she, we, they」の7種類から選択できます。

受け身にする

受動態の文章として翻訳します。ただし、受動態になりえない構造の分の場合は、「受け身にする」を指定しても、自動的に主語を補って翻訳します。この場合の主語は、「主語を補う」で指定されたものです。

主語を省略する

命令形の文章として翻訳されます。たとえば「翻訳ボタンをクリックします。」という文は、「Click a translation button.」と訳されます。



ヒント

【主語の変更と翻訳ロック】

補われた主語を訳語変更した場合、変更した主語は学習されません。そこで、訳語変更した文は再翻訳できないように、翻訳ロックされます。

● 目的語がないとき

英語の動詞には、他動詞と自動詞があり、他動詞の目的語は省略できません。ところが、日本語では他動詞と自動詞の区別がないため、「～を」という目的語は省略しがちです。ここでは他動詞を含む英文で、原文に目的語がない場合の処理を設定します。

目的語を補う

このチェックボックスがオンの場合、目的語を補います。補う目的語は、「it, you, them, us, me, him, her, that」の8種類から選択できます。オフの場合、動詞が他動詞でも目的語を補いません。



【目的語の変更と翻訳ロック】

補われた目的語を訳語変更した場合、変更した目的語は学習されません。そこで、訳語変更した文は再翻訳できないように、翻訳ロックされます。

● 「～している」の訳

日本語で「～している」という文は、必ずしも現在進行形を表現しているとは限りません。むしろ現在形で訳した方が適当な場合が多くあります。このような文の訳し方を「現在形（初期設定）」、「現在進行形」、「完了形」から選択します。



和文が「～していた」のように過去形の場合は、「過去形」、「過去進行形」、「過去完了形」で訳されます。

● NOTの表記

否定を表すNOTを含む英文で、省略形を使うかどうかを設定します。
[is not/cannot]を選択すると原形で、[isn't/can't]を選択すると省略形で翻訳します。

● 学習

訳語を学習する

このチェックボックスがオンの場合、学習辞書を使用して翻訳します。オフの場合は、翻訳の際、学習辞書を使用しません。

7.3 多言語翻訳の設定

JxEuroでは、英語から欧州語、欧州語から英語に翻訳するときに、どのような形式で翻訳するかを設定できます。適切な翻訳設定をすることで、よりふさわしい翻訳が可能になります。翻訳設定は、翻訳エディタの〈設定〉をクリックし、各言語の「翻訳」タブをクリックして行います。



言語ペアによっては、翻訳設定がないものもあります。

7.3.1 フランス語の翻訳設定

英語からフランス語への翻訳には、以下の設定があります。



主語の性別

フランス語には、名詞、冠詞、形容詞に性別があるので、話し手が男性なのか女性なのかによって、訳文が変わる場合があります。たとえば、"I am a lecturer"を訳すと以下のようになります。

男性：Je suis conférencier.

女性：Je suis conférencière.

形式

英語のyouの訳し方を指定します。英語のyouは、フランス語では"tu"（カジュアル）、"vous"（カジュアル・複数形/フォーマル/フォーマル・複数形）と訳し分けられます。たとえば、"You sing."を訳すと以下のようになります。

カジュアル：Tu chantes.

カジュアル・複数形/フォーマル/フォーマル・複数形：Vous chantez.

7.3.2 ドイツ語の翻訳設定

英語からドイツ語への翻訳には、以下の設定があります。



主語の性別

ドイツ語には、一般名詞に性別があるので、話し手が男性なのか女性なのかによって、訳文が変わる場合があります。たとえば、"I am a lecturer."を訳すと以下ようになります。

男性：Ich bin Dozent.

女性：Ich bin Dozentin.

形式

英語のyouの訳し方を指定します。英語のyouは、ドイツ語では"du"（カジュアル）、"ihr"（カジュアル・複数形）、"Sie"（フォーマル/フォーマル・複数形）と訳し分けられます。たとえば、"You sing."を訳すと以下ようになります。

カジュアル：Du singst.

カジュアル・複数形：Ihr singt.

フォーマル/フォーマル・複数形：Sie singen.

7.3.3 イタリア語の翻訳設定

英語からイタリア語への翻訳には、以下の設定があります。



主語の性別

イタリア語には、名詞、冠詞、形容詞に性別があるので、話し手が男性なのか女性なのかによって、訳文が変わる場合があります。たとえば、"I am tall." を訳すと以下ようになります。

男性：Sono alto.

女性：Sono alta.

形式

英語のyouの訳し方を指定します。英語のyouは、イタリア語では"tu" (カジュアル)、"voi" (カジュアル・複数形)、"Lei" (フォーマル)、"Loro" (フォーマル・複数形) と訳し分けられます。たとえば、"You went for shopping." を訳すと以下ようになります。

カジュアル：Tu andasti per fare compere.

カジュアル・複数形：Voi andaste per fare compere.

フォーマル：Lei andò per fare compere.

フォーマル・複数形：Loro andarono per fare compere.

イタリア語から英語への翻訳には、以下の設定があります。



聞き手

三人称代名詞の訳し方を指定します。

「聞き手」で、「直接」を選択した場合、イタリア語の三人称代名詞を、英語の二人称代名詞に訳します。

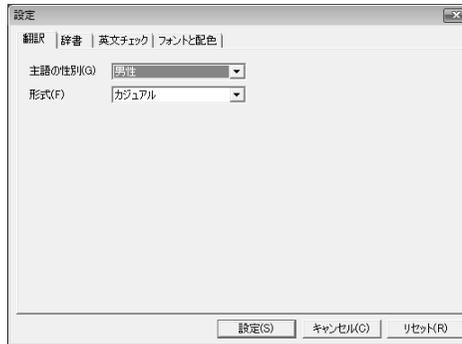
「聞き手」で、「間接」を選択した場合、イタリア語の三人称代名詞を、英語の三人称代名詞に訳します。たとえば、"Io le spedii una lettera"を訳すと以下のようになります。

直接：I sent you a letter.

間接：I sent her a letter.

7.3.4 ポルトガル語の翻訳設定

英語からポルトガル語への翻訳には、以下の設定があります。



主語の性別

ポルトガル語には、名詞、冠詞、形容詞に性別があるので、話し手が男性なのか女性なのかによって、訳文が変わる場合があります。たとえば、"I am a lecturer."を訳すと以下のようになります。

男性：Eu sou um conferencista.

女性：Eu sou uma conferencista.

形式

英語のyouの訳し方を指定します。英語のyouは、ポルトガル語では"você"（カジュアル）、"vocês"（カジュアル・複数形）、"o senhor"（フォーマル・男性）、"a senhora"（フォーマル・女性）、"os senhores"（フォーマル・男性・複数形）、"as senhoras"（フォーマル・女性・複数形）と訳し分けられます。たとえば、"You sing."を訳すと以下のようになります。

カジュアル：Você canta.

カジュアル・複数形：Vocês cantam.

フォーマル・男性：O senhor canta.

フォーマル・女性：A senhora canta.

フォーマル・男性・複数形：Os senhores cantam.

フォーマル・女性・複数形：As senhoras cantam.

ポルトガル語から英語への翻訳には、以下の設定があります。



聞き手

三人称代名詞の訳し方を指定します。

「聞き手」で、「直接」を選択した場合、ポルトガル語の三人称代名詞を、英語の二人称代名詞に訳します。

「聞き手」で、「間接」を選択した場合、ポルトガル語の三人称代名詞を、英語の三人称代名詞に訳します。たとえば、"Eu lhe enviei uma carta."を訳すと以下ようになります。

直接：I sent you a letter.

間接：I sent him/her a letter.

7.3.5 スペイン語の翻訳設定

英語からスペイン語への翻訳には、以下の設定があります。



主語の性別

スペイン語には、名詞、冠詞、形容詞に性別があるので、話し手が男性なのか女性なのかによって、訳文が変わる場合があります。たとえば、"I am tall."を訳すと以下ようになります。

男性：Yo soy alto.

女性：Yo soy alta.

形式

英語のyouの訳し方を指定します。英語のyouは、スペイン語では"tú"（カジュアル）、"vosotros"（カジュアル・複数形）、"Usted"（フォーマル）、"Ustedes"（フォーマル・複数形）と訳し分けられます。たとえば、"You sing."を訳すと以下ようになります。

カジュアル：Cantas.

カジュアル・複数形：Cantáis.

フォーマル：Canta.

フォーマル・複数形：Cantan.

スペイン語から英語への翻訳には、以下の設定があります。



聞き手

三人称代名詞の訳し方を指定します。

「聞き手」で、「直接」を選択した場合、スペイン語の三人称代名詞を、英語の二人称代名詞に訳します。

「聞き手」で、「間接」を選択した場合、スペイン語の三人称代名詞を、英語の三人称代名詞に訳します。たとえば、"Le doy este libro."を訳すと以下のようになります。

直接：I give you this book.

間接：I give him/her this book.

7.4 英文チェックの設定

英文チェックの際、英文のスペルチェックのみを行うのか、文法チェックも同時に行うのかを指定します。[ツール]―[設定]―[英文チェック]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



● チェック項目

スペルチェックのみを行う場合は、「スペルのみチェック」をオンにしてください。スペルチェックと文法チェックを同時に行う場合は、「スペル+文法チェック」をオンにしてください。

● 文法チェックのレベル

「スペルのみチェック」がオンの場合は、設定できません。

カジュアル

厳しいチェックはしません。くだけた表現の文章にしたい場合に選択します。

標準

一般的なビジネス文書の場合に選択します。

フォーマル

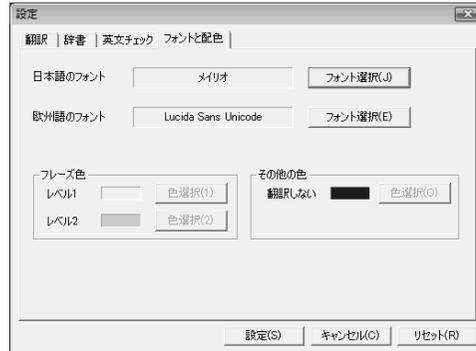
公式文書など、厳しくチェックする必要のある場合に選択します。



英文チェック機能は、あくまでも一般的な英語に対するチェックを行うためのもので、英文チェック用の辞書は基本語辞書や専門語辞書とは異なる独立した一般辞書を使用しています。このため、ハイフンを含む複合語や専門語辞書から出典した単語はスペルミスとして指摘されることがあります。

7.5 フォントと配色の設定

翻訳エディタに表示されるフォント、フレーズ指定した文字色を設定します。この設定は、英日・日英共通です。[ツール]—[設定]—[フォントと配色]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



日本語のフォント、欧州語のフォントを指定します。変更するには、各言語の〈フォント選択〉をクリックしてください。フォント選択ダイアログが表示されます。

フォントを設定したら、〈OK〉をクリックしてダイアログを閉じます。

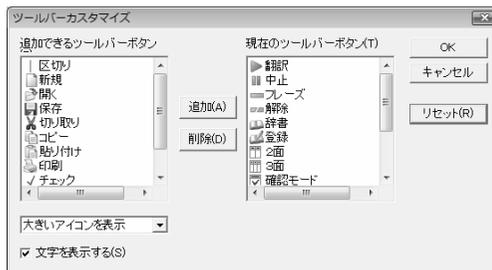
「フレーズ色」にフレーズ指定した際の文字色を指定します。

「その他の色」の「翻訳しない」にフレーズ指定で「翻訳しない」と設定した場合の文字色を指定します。

〈設定〉をクリックすると、フォントの設定が保存されます。

7.6 ツールバーカスタマイズ

JxEuroでは、ツールバーに表示するボタンの指定、ボタンの表示方法などを指定できます。[ツール]→[ツールバーカスタマイズ]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



● ツールバーのボタン

「現在のツールバーボタン」には、翻訳エディタに表示されるツールバーのボタンが表示されます。ツールバーは、初期状態では次のように設定されています。



〈リセット〉をクリックすると初期状態に戻ります。

● ツールバーにボタンを追加する

「追加できるツールバーボタン」にある任意のボタンを選択して、〈追加〉をクリックすると、「現在のツールバーボタン」に追加されます。この際、「現在のツールバーボタン」に選択したボタンがある場合は、その上へ、選択したボタンがない場合は最後へ追加されます。

● ツールバーからボタンを削除する

「現在のツールバーボタン」にある任意のボタンを選択して、〈削除〉をクリックすると、「追加できるツールバーボタン」に移動します。

● 順番と区切り

ツールバーに表示するボタンの順番を指定できます。「現在のツールバーボタン」にある任意のボタンを選択し、リスト内でドラッグすると→が表示されます。任意の位置でマウスポタンを離すと、その場所へ移動できます。

ツールバーを種類別、用途別などに分類する場合などは、区切り (|) を入れると見やすくなります。「現在のツールバーボタン」で区切る位置のボタンを選択して、「区切り」を追加してください。

- アイコンの大きさ

ツールバーに表示するボタン(アイコン)を小さくまたは大きく表示できます。この項目の横にある▼をクリックして表示されるリストからアイコンのサイズを指定します。

- 文字を表示する

このチェックボックスがオンの場合、ボタンの下にボタンに登録されている機能が表示されます。オフだと、機能の説明は表示されません。

7.7 ホームページ翻訳の設定

翻訳ツールバーの〈設定〉をクリックすると、ホームページ翻訳の設定ダイアログが開きます。翻訳結果のウィンドウの表示方法や訳文のフォント・色などが指定できます。



- 翻訳結果表示

翻訳結果を新規にブラウザを起動して表示するか、アクティブなブラウザに表示するかを設定します。

新規ブラウザウィンドウ	新規にブラウザを起動して翻訳結果を表示します。
メインウィンドウ	アクティブなブラウザに翻訳結果を表示します。

● 訳語フォント

翻訳結果ページに表示する訳文のフォントサイズ、スタイル、色を設定します。

フォントサイズ	訳文のフォントサイズを設定します。原文を100%としてパーセンテージで指定しますが、fontタグでサイズが指定されていると、原文に対するパーセンテージとならない場合があります。
フォントスタイル	訳文のフォントスタイルを設定します。
フォントカラー	訳文の色を設定します。

● 制限事項

1. 翻訳対象はテキストデータのみです。画像やFlashなどを翻訳することはできません。
2. 翻訳結果の訳文において、フォームが正しく機能しない場合があります。
3. HTML形式以外で作成された文書の翻訳はできません。
4. Internet Explorerにgoogleツールバーをインストールしている場合、googleツールバーの[オプション]-[アクセサリ]-[ポップアップブロッカー]にチェックマークをつけてオンにすると、翻訳結果を新規ブラウザウィンドウで表示することができません。
5. JavaScriptとFlashの両方を使用しているページの場合、翻訳結果のページでFlashが再生されないことがあります。

7.8 メール翻訳の設定

ツールバーの〈設定〉をクリックすると、メール翻訳の設定ダイアログが開きます。ここではフォントや訳文の色を指定することができます。

• フォント

「フォント」タブでは、「原文」と「訳文」で使用するフォントを指定します。「フォント」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



各言語の右端にある▼をクリックして表示される一覧からフォントを選択します。

• 色

「色」タブでは、訳文の色を指定します。「色」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。

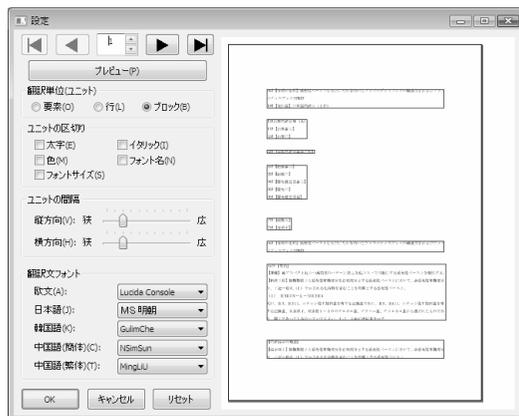


訳文色を示す四角形をクリックして表示される色の設定ダイアログから訳文の色を選択します。

7.9 PDFダイレクトファイル翻訳の設定

原文のPDFファイルに合わせて、翻訳の単位などを設定することで、より適切な翻訳を行うことができます。

名前を付けて保存ダイアログの〈設定〉をクリックすると、PDFダイレクトファイル翻訳の設定ダイアログが表示されます。



● 翻訳単位 (ユニット)

翻訳の単位を指定します。

要素

原文PDFファイルデータの最小単位を指します。

行

「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の「横方向」の条件で、「要素」を結合したものを指します。

ブロック

「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の条件で、「行」を結合したものを指します。

● ユニットの区切り／ユニットの間隔

「翻訳単位 (ユニット)」で、「行」と「ブロック」を選択した際に、区切りと間隔を指定します。

● 翻訳文フォント

訳文のフォントを指定します。設定を変更し〈プレビュー〉をクリックすると、原文の翻訳単位が表示されます。〈OK〉をクリックすると、名前を付けて保存ダイアログに戻ります。

● 制限事項

PDFダイレクトファイル翻訳は、原文のPDFファイルからテキストを抽出し、翻訳結果のPDFファイルを作成します。翻訳結果ではフォントの種類、サイズ、レイアウトなどを原文と同様にします。

ただし、PDFファイルが作成された環境や状態によって、以下のファイルは翻訳できなかったり、翻訳結果のレイアウトが保てない場合があります。

- セキュリティ保護機能が使われているPDFファイル
- しおり機能が使われているPDFファイル
- 複雑なレイアウトで構成されているPDFファイル（DTPソフトなどから作成されたPDFファイル）
- Adobe Acrobat5.0以前の環境でFlate（Zip）以外の圧縮方法（LZWなど）で作成されたPDFファイル
- Windows以外のOSで生成されたPDFファイル

PDFファイルが正しく翻訳できない場合は、Adobe AcrobatまたはAcrobat Readerのテキスト抽出機能を使用し、翻訳エディタの原文エリアに貼り付けて翻訳を行ってください。



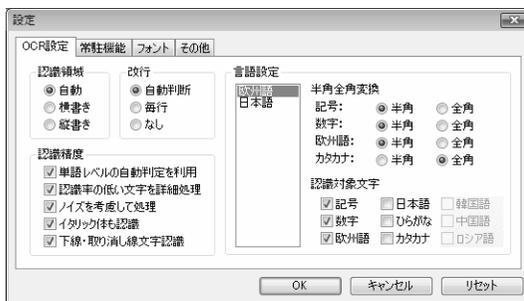
文字が画像データであるPDFファイルは翻訳できません。
透明テキストデータであるPDFファイルは、画像の上にテキスト文が表示されます。

7.10 ツールの設定

ここでは、キャプチャ翻訳の環境設定を中心に以下のツールの設定について説明します。

- キャプチャ翻訳
- ワンポイント翻訳

各ツールで[ツール]—[オプション]を選択すると、オプション設定ダイアログが表示されます。



7.10.1 OCR設定 キャプチャ翻訳のみ

「OCR設定」タブでは、文字認識の対象である領域の文字の方向、認識する言語、認識結果の処理方法などについて設定します。

● 認識領域

認識対象とする文字の方向が横書きか縦書きか指定します。

● 改行

画像文書での改行に対し、認識結果に改行記号を追加するか、または自動的に判断するかを設定します。

● 領域精度

単語レベルの自動判定を利用

このチェックボックスがオンの場合、文字認識時、システムが保持している辞書を参照して文字の並び（スペルチェック）を解析し、誤認識を検出します。

認識率が低い文字を詳細処理

このチェックボックスがオンの場合、認識できない画像パターンに対して、いくつかのパターンと比較して認識結果を出力します。

ノイズを考慮して処理

原稿にノイズが多い場合に、このチェックボックスをオンにします。

イタリック体も認識

原稿にイタリック体が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

下線・取り消し線文字認識

原稿に下線・取り消し線文字が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

● 言語設定

文字認識エンジンの言語ごとの設定を行います。文字認識エンジンの言語は、「エンジン」に設定されている原語です。「エンジン」が「英語 - 日本語」の場合は「欧州語」、「日本語 - 英語」の場合は「日本語」を選択します。

半角全角変換

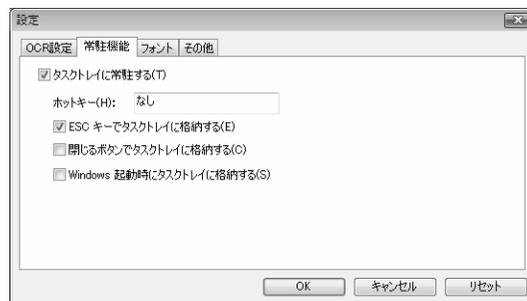
各文字について、全角で出力するか半角で出力するか指定します。

認識対象文字

認識を行う記号と文字を指定します。

7.10.2 常駐機能

「常駐機能」タブでは、タスクトレイに常駐させる設定を行えます。「常駐機能」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



● タスクトレイに常駐する

タスクトレイを使うかを指定します。このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳を最小化すると非表示になり、タスクトレイに格納されます。また、以下の設定を行うことができます。

ホットキー

タスクトレイにあるキャプチャ翻訳をキー操作で呼び出すためのホットキーを設定します。

ESCキーでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、ESCキーを押すと、キャプチャ翻訳は最小化してタスクトレイに格納されます。

閉じるボタンでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳の閉じるボタン (☒) をクリックすると、最小化してタスクトレイに格納されます。

Windows起動時にタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、Windows起動時にキャプチャ翻訳が起動します。



【タスクトレイからの取り出し】

タスクトレイに格納されている場合、タスクトレイアイコンをクリックすると、キャプチャ翻訳を表示することができます。

● タスクトレイについて

タスクトレイはタスクバーの右端に配置され、起動中のツールのアイコンを表示することができます。たとえばJxEuroでキャプチャ翻訳をタスクトレイに常駐させると、次のとおりに表示されます。



タスクバーの設定でアクティブでないインジケータを隠すと設定している場合、アイコンが隠れてしまい表示されないことがあります。このような場合は、タスクトレイ左端にある矢印 < をクリックすると隠れているアイコンが表示されます。

7.10.3 フォント

「フォント」タブでは、「原文」と「訳文」で使用するフォントを指定します。「フォント」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。

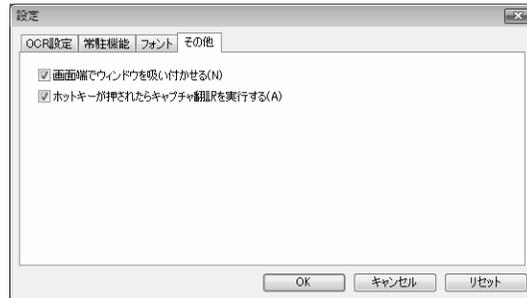


各言語の右端にある  をクリックして表示される一覧からフォントを選択します。

7.10.4 その他

「その他」タブでは、キャプチャ翻訳ウィンドウの配置方法と翻訳を実行するタイミングを指定します。

「その他」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



- **画面端でウィンドウを吸い付かせる**

このチェックボックスがオンの場合、ウィンドウを移動すると画面からはみ出さず、画面の端に配置されます。

- **ホットキーが押されたらキャプチャ翻訳を実行する（キャプチャ翻訳の設定）**

このチェックボックスがオンの場合、「常驻機能」タブで設定した「ホットキー」を押下するとキャプチャ翻訳を呼び出すことができます。

- **ホットキーが押されたらクリップボード翻訳を実行する（ワンポイント翻訳の設定）**

このチェックボックスがオンの場合、このチェックボックスがオンの場合、「常驻機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、クリップボードに保存されているテキストを翻訳します。

ウィンドウをアクティブにする

このチェックボックスがオンの場合、「常驻機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、ウィンドウが最前面に表示されます。

付録

付録1 Officeの起動時に「セキュリティの警告」

Microsoft Officeのアプリケーションで「セキュリティの警告」が表示される場合があります。Microsoft Officeでは、マクロ・ウィルス対策のために、認証されたマクロでない場合に、この警告を表示するようになりました。この警告を表示させないために以下の手順を試してください。

Microsoft Officeのアプリケーションを起動後、「セキュリティの警告」が表示される場合、「この作成者のマクロを常に信頼する」をオンにし、〈マクロを有効にする〉をクリックすると、以後、「セキュリティの警告」は表示されません。

「この作成者のマクロを常に信頼する」をオンにできない場合は、以下の手順をお試しください。ここではWordで表示された場合について説明していますが、Excel、PowerPointの場合の操作も同じです。

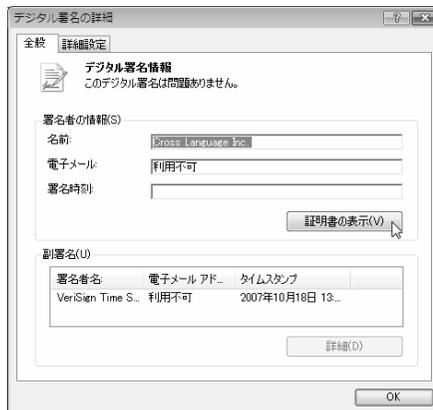
手順

1. 〈詳細〉をクリックします。



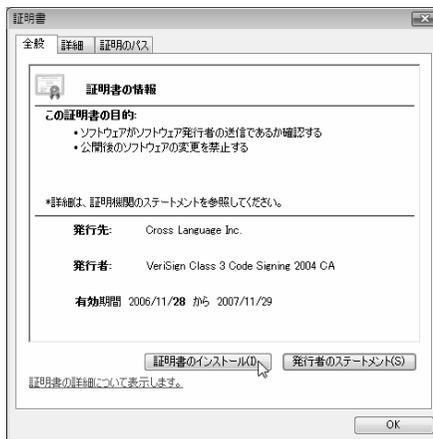
デジタル署名の詳細が表示されます。

2. 〈証明書の表示〉をクリックします。



証明書が表示されます。

3. 〈証明書のインストール〉をクリックします。

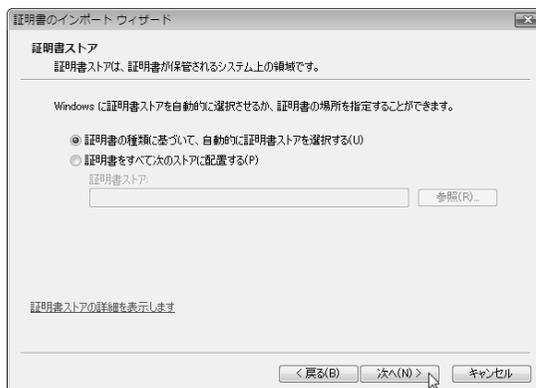


証明書のインポートウィザードが開始されます。

4. 〈次へ〉をクリックします。



5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」をオンにし、〈次へ〉をクリックします。

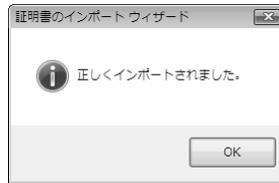


6. 〈完了〉をクリックします。



ルート証明書ストアが表示されます。

7. 〈はい〉 をクリックします。



8. 証明書ダイアログとデジタル署名の詳細ダイアログを閉じてください。
最初のセキュリティの警告ダイアログを閉じて、Wordを終了してください。

9. Wordを再起動してください。

10. Word起動後、「セキュリティの警告」が表示されますが、「この発行者のマクロを常に信頼する」チェックボックスをオンにし、〈マクロを有効にする〉をクリックすると完了です。



次回起動から「セキュリティの警告」は表示されなくなります。



セキュリティレベルが「最高」と設定されている場合、JxEuroが提供するマクロを使用することはできません。JxEuroが提供するマクロを使用する場合は、セキュリティレベルを「高」以下に設定してください。

付録2 多国語IMEを使った入力

IMEとは入力システム(Input Method Editor:IME)のことで、各国の多様な文字を特殊なキーボードを利用せずに入力するためのプログラムです。フランス語のアクサンやドイツ語のウムラウトなどを入力するには、各国語のIMEを使用します。

ここでは、Windowsのバージョンごとに多言語IMEの設定と使用方法について説明します。

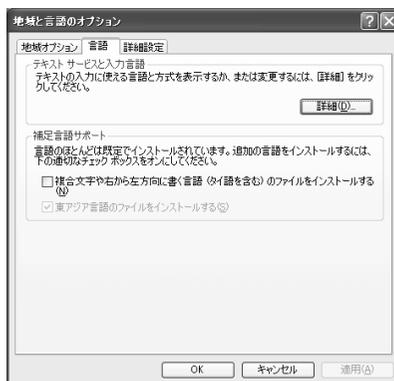
2-1 Windows XPの場合

以下の手順で、多言語IMEを設定します。

手順

1. コントロールパネルの「地域と言語のオプション」を開き、「言語」タブをクリックします。

次のダイアログが表示されます。



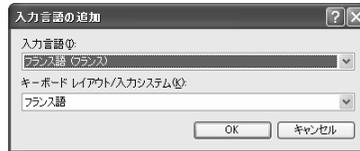
2. 「テキストサービスと入力言語」の〈詳細〉をクリックします。

テキストサービスと入力言語ダイアログが表示されます。



3. 〈追加〉をクリックします。

入力言語の追加ダイアログが表示されます。



4. 「入力言語」と「入力システム」を確認して、〈OK〉をクリックします。

次のダイアログが表示されます。

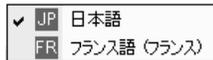


〈OK〉をクリックすると、設定が適用されます。

これで、多言語IMEが設定されました。

5. 言語バーの「JP」をクリックします。

使用可能な入力言語が表示されます。



6. 使用する言語をクリックします。

言語バーの先頭に、設定した言語のアイコンが表示されます。
各言語の入力方法については、各IMEのヘルプを参照してください。

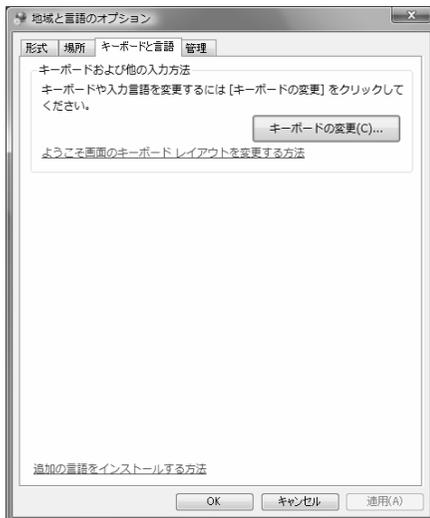
2-2 Windows 7/Vistaの場合

以下の手順で、多言語IMEを設定します。

手順

1. コントロールパネルの「地域と言語」を開き、「キーボードと言語」タブをクリックします。

Vistaの場合は、「時計、言語、および地域」の下にある「キーボードまたは入力方法の変更」を開き、「キーボードと言語」タブをクリックします。
次のダイアログが表示されます。



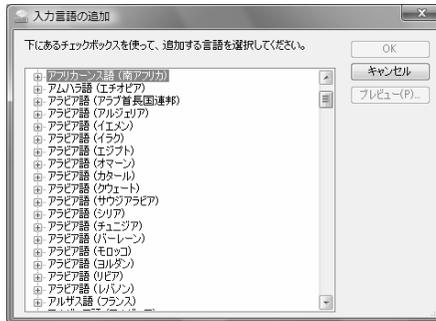
2. 「キーボードの変更」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ダイアログが表示されます。



3. 「追加」をクリックします。

「入力言語の追加」ダイアログが表示されます。



4. 「入力言語」から使用する言語を選択します。

たとえば、「フランス語」を選択すると、以下のとおりに表示されます。



5. 〈OK〉をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ダイアログに戻り、「インストールされているサービス」に手順4で選択した言語が追加されます。
たとえば、フランス語の場合は、以下のとおりに表示されます。



〈OK〉をクリックすると、設定が適用されます。

これで、多言語IMEが設定されました。

6. 言語バーの「JP」をクリックします。

使用可能な入力言語が表示されます。



7. 言語を選択します。

たとえば、「フランス語」を選択すると、言語バーがフランス語入力に切り替わります。これで、フランス語を入力するための設定が終了しました。
多言語IMEの操作方法については、Windowsのヘルプを参照してください。

付録3 JxEuroが作成するファイル

JxEuroは、翻訳作業において以下のファイルを作成します。

● 英⇄日翻訳

英⇄日翻訳では、以下の形式のテキストファイルを作成できます。

ファイルの種類	ファイル名に追加される記号	説明
対訳ファイル (Unicode)	ファイル名に"_AB"を付加	"--"記号（英数字）、原文、訳文の順で対訳をUnicodeで保存
訳文ファイル (Unicode)	ファイル名に"_B"を付加	訳文エリアの訳文のみをUnicodeで保存
原文ファイル (Unicode)	ファイル名に"_A"を付加	原文エリアの原文のみをUnicodeで保存
対訳ファイル	ファイル名に"_AB"を付加	"--"記号（英数字）、原文、訳文の順で対訳をテキストファイルに保存
訳文ファイル	ファイル名に"_B"を付加	訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存
原文ファイル	ファイル名に"_A"を付加	原文エリアの原文のみをテキストファイルに保存

※ Aは原文の言語の頭文字、Bは翻訳結果の言語の頭文字を表します。



確認エリアの内容は、テキスト出力できません。

● 欧⇄日翻訳

欧⇄日翻訳では、以下の形式のテキストファイルを作成できます。

ファイルの種類	ファイル名に追加される記号	説明
原文ファイル (Unicode)	ファイル名に"_A"を付加	原文エリアの原文のみをUnicodeで保存
対訳ファイル (Unicode)	ファイル名に"_AB"を付加	"-"記号（英数字）、原文、訳文の順で対訳をUnicodeで保存
訳文ファイル (Unicode)	ファイル名に"_B"を付加	訳文エリアの訳文のみをUnicodeで保存
英訳文ファイル (Unicode)	ファイル名に"_e"を付加	英訳文エリアの訳文のみをUnicodeで保存
原文ファイル	ファイル名に"_A"を付加	原文エリアの原文のみをテキストファイルに保存
対訳ファイル	ファイル名に"_AB"を付加	"-"記号（英数字）、原文、訳文の順で対訳をテキストファイルに保存
訳文ファイル	ファイル名に"_B"を付加	訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存
英訳文ファイル	ファイル名に"_e"を付加	英訳文エリアの訳文のみをテキストファイルに保存

※ Aは原文の言語の頭文字、Bは翻訳結果の言語の頭文字を表します。



確認エリアの内容は、テキスト出力できません。

索引

E		あ	
Excelの翻訳	16	アイコンの大きさ	93
I		アップデート	77
Internet Explorer 8のアクセラレータで翻訳	22	アップデートのお知らせ設定	78
Internet Explorerアドイン翻訳	19	アップデートの確認	77
J		アドイン設定	14, 18
JxEuroについて	1	アドイン翻訳	
JxEuroの起動	5	起動	14
JxEuroの機能	1	翻訳言語の選択	14
JxEuroの終了	7	無効	18
M		有効	18
Microsoft Officeアドイン翻訳	14	い	
N		一文翻訳	47, 53
NOTの表記	82	意味素性	69
O		え	
OCR	31, 39	英欧ユーザー辞書登録	71
OCR設定	98	英語を日本語に翻訳	7
Officeのセキュリティの警告	102	英日翻訳	7
Outlook Expressアドイン翻訳	26	英⇄日翻訳で作成するファイル	111
P		英日翻訳の機能	55
PDFダイレクトファイル翻訳	28	英日ユーザー辞書登録	69
制限事項	97	英文チェック	65
設定	96	英文チェックで使用される辞書	65
無効	29	英文チェックの設定	90
有効	29	英訳エリアの訳語変更	42, 49
PowerPointの翻訳	17	英訳ロック	45, 51, 62
W		お	
Webページの翻訳	19	欧英ユーザー辞書登録	72
Windows Liveメールアドイン翻訳	26	欧州語を日本語に翻訳する	41
Windowsメールアドイン翻訳	26	欧⇄日翻訳で作成するファイル	112
Wordの翻訳	15	大文字を小文字にして訳す	79
		補われた主語の変更	81
		補われた目的語の変更	82
		音声の設定	63
		音声読み上げ	63
		オンラインヘルプ	4

か		終了..... 7	
改行..... 98		主語がないとき..... 81	
解除..... 75		常駐機能..... 99	
書き込み可能なユーザー辞書..... 74		新規作成..... 72	
学習..... 80, 82		す	
学習解除..... 55		「スタート」メニュー..... 5	
学習機能..... 9, 54		スライド翻訳..... 14	
確認エリア..... 47		せ	
確認モードで翻訳..... 47		製品ラインナップ..... 3	
カジュアル..... 90		性別..... 72	
箇条書き翻訳..... 61		セキュリティの警告..... 102	
カタカナを「・」でつなぐ..... 80		設定..... 31, 40	
活用形..... 69		選択した範囲の翻訳をやりなおす..... 48	
活用パターン..... 71, 72		専門語辞書を使う..... 76	
き		そ	
キャプチャ翻訳..... 22, 30, 35		属性..... 71, 72	
中止..... 36		その他..... 101	
認識可能な文字..... 37		「その他」タブ..... 40	
認識言語..... 37		た	
編集..... 37		タイトル翻訳..... 60	
翻訳言語の指定..... 36		対訳ファイル..... 12, 111, 112	
け		多言語IMEを使った入力..... 106	
言語設定..... 99		Windows 7/Vista..... 108	
言語ペア..... 4, 6		Windows XP..... 106	
原文ファイル..... 12, 111, 112		単語の対応..... 9, 42, 49	
こ		単語を登録する..... 67	
構文パターンの指定..... 70		つ	
さ		通常翻訳..... 61	
再翻訳..... 48		ツールの設定..... 98	
作成するファイル..... 111		ツールバーカスタマイズ..... 92	
し		て	
辞書参照..... 66		である調..... 80	
辞書設定..... 74		テキストファイルの翻訳..... 7	
「辞書」タブ..... 72		デスクトップのショートカット..... 5	
辞書リストの順番を変更する..... 75		ですます調..... 80	
辞書リストの優先順位..... 75		と	
辞書をリストからははずす..... 75		登録用ユーザー辞書..... 74	
「～している」の訳..... 82			

終了	31	訳語を学習させない	55
翻訳パレット入門	30	訳語を学習する	80, 82
翻訳パレットの起動	30	訳文エリアの訳語変更	44, 51
翻訳ファイルの拡張子	11	訳文の保存	12
翻訳ファイルの保存	11	訳文の翻訳結果	47
翻訳モード	7	訳文ファイル	12, 111, 112
翻訳モードの切り替え	7		
翻訳ロック	45, 51, 62	ゆ	
翻訳ロック解除	45, 51, 62	ユーザー辞書登録	10, 45, 52
翻訳をやりなおす	48	ユーザー辞書に単語を登録する	67
		ユーザー辞書を新規作成する	72
み		優先順位	75
右側再翻訳	44, 50		
見出し語の文字数	69, 71, 72	よ	
		読み上げ	63
め			
命令文	80	ら	
メール翻訳	26	「ら・い」抜き言葉に注意	48
設定	95		
		り	
も		領域精度	98
モードの切り替え	7		
目的語がないとき	82	れ	
文字を表示する	93	連続する文章の翻訳	54
や		ろ	
訳語対応	9, 42, 49	ロック	45, 51
訳語の学習	10		
訳語の変更と英訳ロック	43	わ	
訳語の文字数	69, 71, 72	ワークシート翻訳	14
訳語変更	9, 42, 49	ワンポイント翻訳	22, 30, 38
訳語変更で英文を再翻訳しない	44, 50		

JxEuro 2011 for Windows

ユーザーズ・ガイド

〈ユーザーサポート〉

株式会社クロスランゲージ ユーザーサポート

E-mail : support@crosslanguage.co.jp

サポートページ <http://www.crosslanguage.co.jp/support/>

発行日	2011年 1月 (初版)
編集／発行	株式会社クロスランゲージ 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-4-5 共立ビル8階
ホームページ	http://www.crosslanguage.co.jp/